

一般講演

口頭発表プログラム

- 口頭発表は質疑応答と交代の時間を含めて 15 分です。時間に沿った進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答をお願いします。
- 事前に接続確認を行います。日時や方法等の詳細はメール等にてお知らせします。
- 発表の順番になりましたら、Zoom の「画面共有」で発表用ファイルを選択し、ミュートを解除して発表を行って下さい。ビデオは ON をお願いします。
- 座長を担当する方々で、あらかじめ連絡をとって分担する演題を決めておいてください。
- 座長が行う Zoom 機能操作については後日お知らせします。
- 座長一覧は、口頭発表プログラムの後にあります。

● 第1日 3月22日(火) 午前(9:30-12:15)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成	植物生物間相互作用 B	膜交通	一次代謝
09:30	<p>1aA01 光合成のレドックス制御に関わる PIFI タンパク質の分子機能解析 村井美波¹, 吉田啓亮², 車玉芬³, 石川規子⁴, 久堀徹², 伊福健太郎^{1,4}(¹京大・農, ²東工大・化生研, ³京大院・生命, ⁴京大院・農)</p>	<p>1aB01 イネにおいてキチン誘導性防御応答と菌根菌共生応答を切り替える因子の探索 宮田佳奈, 細谷萌恵, 杉山泰成, 高橋勇人, 賀菜華江(明治大・農)</p>	<p>1aC01 シロイヌナズナホウ酸輸送チャネルの細胞体からの輸送にはカーゴレプター候補タンパク質 KNS3 とそのホモログが重要である 張哲¹, 山崎有紗¹, 中村俊介², 竹村駿介³, 石黒澄衛³, 高野順平¹(¹阪府大・院生命環境, ²北大・院農, ³名大・院農)</p>	<p>1aD01 ㊦ Important roles of PGDH-mediated serine synthesis in thallus growth, male gametogenesis and metabolism in <i>Marchantia polymorpha</i> Mengyao Wang^{1,2}, Hiromitsu Tabeta^{1,3,5}, Kinuka Ohtaka^{1,2,6}, Ayuko Kuwahara¹, Kiminori Toyooka¹, Mayuko Sato¹, Mayumi Wakazaki¹, Hiromichi Akashi¹, Takayuki Kohchi⁴, Ryuichi Nishihama^{4,8}, Keisuke Yoshida⁷, Ali Ferjan⁹, Masami Yokota Hirai^{1,2}(¹RIKEN Center for Sustainable Resource Science, ²Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, ³Department of Life Sciences, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, ⁴Graduate School of Biostudies, Kyoto University, ⁵Department of Biology, Tokyo Gakugei University, ⁶Department of Chemical and Biological Sciences, Faculty of Science, Japan Women's University, ⁷Laboratory for Chemistry and Life Science, Institute of Innovative Research, Tokyo Institute of Technology, ⁸Department of Applied Biological Science, Faculty of Science and Technology, Tokyo University of Science)</p>
09:45	<p>1aA02 PsbP の Loop 4 領域の変異による光化学系 II の酸素発生活性の向上 今泉滉¹, 西村大志¹, 長尾遼^{2,3}, 斉藤圭亮^{4,5}, 中野雄司¹, 石北央^{4,5}, 野口巧², 伊福健太郎⁶(¹京大・院・生命, ²名古屋大・院・理, ³岡山大学・異分野, ⁴東京大・先端研, ⁵東京大・院・工学系・応用化学, ⁶京大・院・農)</p>	<p>1aB02 ㊦ Identification of a prehaustoria suppressor in the root parasitic plant <i>Phtheirospermum japonicum</i> Lei Xiang, Songkui Cui, Satoko Yoshida (Plant Sym., Div. Bio. Sci., NAIST)</p>	<p>1aC02 シロイヌナズナの花粉で機能する PICALM メンバーの解析 海老根一生^{1,2}, 藤本優³, 室啓太⁴, 武内秀憲^{5,6}, 東山哲也^{5,7}, 上田貴志^{1,2}(¹基生研・細胞動態, ²総研大・生命科学, ³東大・院農, ⁴大阪府大・院・生命環境, ⁵名大・ITBM, ⁶名大・高等研究院, ⁷東大・院理)</p>	<p>1aD02 ㊦ Involvement of Chloroplastic Sec14-like Protein in the Regulation of Phosphorus Acquisition and Use Mailun Yang¹, Yasuhiro Sakuraba¹, Toshiki Ishikawa², Namie Ohtsuki¹, Maki Kawai-Yamada², Shuichi Yanagisawa¹(¹Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, ²Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ.)</p>
10:00	<p>1aA03 光化学系タンパク質複合体の安定な分離のための CN-PAGE の改変 魚尾辰砂, 松前れのん, 田中亮一, 高林厚史(北大・低温研)</p>	<p>1aB03 虫こぶ形成昆虫のヌルデシロアブラムシを用いた二次壁形成誘導エフェクターの同定 中山拓己¹, 大島一正¹, 木村成介², 松浦恭和³, 池田陽子³, 武田征士¹, 平野朋子¹, 佐藤雅彦¹(¹京都府立大学大学院生命環境科学研究所, ²京都産業大学統合生命科学部, ³岡山大学資源植物科学研究所)</p>	<p>1aC03 植物の細胞内膜輸送を制御する RABH1 GTPase の局在と機能解析 大堀智博¹, 伊藤容子², 伊藤瑛海², 中野明彦³, 上田貴志^{4,5}, 植村知博¹(¹お茶の水女子大・院・ライフサイエンス, ²お茶の水女子大・院・生命環境, ³名大・ITBM, ⁴基生研・細胞動態, ⁵総研大・基礎生物)</p>	<p>1aD03 SNARE タンパク質 SYP61 はユビキチンリガーゼ ATL31 と共にシロイヌナズナの C/N 栄養応答を制御する 長谷川陽子¹, Thais Huaranca Reyes^{1,2}, 植村知博³, Anirban Baral⁴, 羅永茗¹, 前川修吾^{1,5}, 安田盛貴^{1,6}, 深尾陽一朗⁷, 中野明彦⁸, 高木純平¹, Rishikesh P. Bhalerao⁴, 山口淳二¹, 佐藤長緒¹(¹北大・院・生命・理, ²Dept. Agri., Food and Environment, Univ. Pisa, ³お茶の水女子大・院・人間文化創成科学研究科, ⁴Forest Genetics and Plant Physiol., Swedish University of Agricultural Sciences, ⁵立教大・理・生命, ⁶奈良先端大・先端技術, ⁷立命館大・生命科学, ⁸理研・光子工学)</p>
10:15	<p>1aA04 PGR5 の欠損はフェレドキシンからの電子の流れを変えることによって <i>ntre</i> 変異株の生育阻害を回復させる 植川友季¹, 本橋健², 坂本巨¹(¹岡山大学・植物研, ²京都産大・生命科学)</p>	<p>1aB04 虫こぶ形成誘導因子 CAP ペプチドは、昆虫プロセシング酵素 CP によって生成される 松澤潤¹, 平野朋子¹, 大島一正¹, 木村成介², 泊直宏³, 佐藤雅彦¹(¹京都府立大・院生命環境学, ²京都産大・院生命科学, ³京都市産業技術研究所)</p>	<p>1aC04 ㊦ Secreted AGP from Salt-Adapted Tobacco BY-2 Cells is GPI-Anchored and Associated with Lipophilic Moieties Ariinze Boniface Nweke¹, Daiki Nagasato¹, Ken Matsuoka^{1,2}(¹Department of Bioscience and Biotechnology, Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University, ²Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture, Kyushu University)</p>	<p>1aD04 シアノバクテリアにおけるエントナードワード経路の生理学的影響の解析 今田辰海, 戸谷吉博, 清水浩(大阪大・情報科学研究科)</p>
10:30	<p>1aA05 P700 の酸化は、光化学系 I 以降での電子の蓄積を緩和することで活性酸素種の生成を防ぐ 吉谷吏直^{1,2}, 和田慎也^{1,2}, 三宅親弘^{1,2}(¹神戸大・院農, ²JST CREST)</p>	<p>1aB05 イネにおける土壌栄養条件と共生制御因子に依存した共生微生物叢の制御 尾上起¹, 切田澄礼¹, 藤雅子¹, Yuniar Devi Utami¹, 今井俊介¹, 村上匠², 本郷裕一³, 金谷重彦¹, 西條雄介¹(¹奈良先端大・先端科学技術, ²遺伝研, ³東京工業大・生命理工学院)</p>	<p>1aC05 ゼニゴケ油体形成における分泌輸送の役割の解明 金澤建彦^{1,2}, 上田貴志^{1,2}(¹基生研・細胞動態, ²総研大・生命科学)</p>	<p>1aD05 光合成依存的な細胞膜 H⁺-ATPase の活性化を介したシロイヌナズナ葉での硝酸取り込みの解析 木下悟¹, 鈴木孝征², 木羽隆敏³, 橋原均³, 木下俊則^{1,4}(¹名古屋大・院・理学, ²中部大学・院・応用生物, ³名古屋大・院・生命農, ⁴名古屋大・WPI-ITbM)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間
生殖成長	光受容体/光応答	環境応答 B	転写・転写後/ 翻訳・翻訳後制御			
<p>1aE01 卵細胞特異的な新規細胞外構造が制御する重複受粉機構の解析 須崎大地¹, 大井崇生², 武内秀憲^{3,4}, 永原史織³, 榎本早希子⁵, 荒井重勇², 木下哲¹, 丸山大輔¹(横山大・木原生研,²名大・院・生命農学,³名大・ITbM,⁴名大・高等研,⁵名大・未来材料・システム研)</p>	<p>1aF01 ㊦ Functional Characterization of Tomato <i>Phytochromes A</i> and <i>B1B2</i> Mutants in Response to Heat Stress Islam Abdellatif¹, Shaoze Yuan¹, Renhu Na¹, Shizue Yoshihara², Haruyasu Hamada³, Takuya Suzuki^{1,4}, Hiroshi Ezura^{1,4}, Kenji Miura^{1,4}(¹Grad. Sch. Life and Environment Sci., Univ. Tsukuba, ²Depart. Biol Sci., Univ. Osaka Prefecture, ³Pharma and Supplemental Nutrition Solutions Vehicle, Kaneka Corporation, ⁴Tsukuba-Plant Innovation Research Center, Univ. Tsukuba)</p>	<p>1aG01 HDAC 阻害剤のシロイヌナズナ HDAC に対する選択性評価と可視化 上田実^{1,2}, 工藤紀雄¹, 松井章浩^{1,2}, 中田明子⁴, 田中真帆^{1,2}, 高橋聡史^{1,2}, 石田順子^{1,2}, 佐々木卓^{1,5}, 吉田稔^{3,4,6}, 関原明^{1,2,7}(¹理研CSRS・植物ゲノム発現研究チーム,²理研CPR・植物エペゲノム制御研究室,³理研CSRS・ケミカルゲノミクス研究グループ,⁴理研CSRS・創薬シード化合物探索基盤ユニット,⁵東大院・理,⁶東大院・農学生命科学,⁷横浜市大・木原生研)</p>	<p>1aH01 AT-AC 型イントロンのスプライシング機構の解析 鈴木孝征, 丹羽智子, 小野凱生, 佐々木将芽, 塩谷佳亮(中部大・応用生物)</p>	シンポジウム S001 ゲノムと新技術が磨くバイオサイエンス (9:30-12:22)	シンポジウム S002 環境の不規則な経時変動に対するステージゲート応答 (9:30-12:30)	09:30
<p>1aE02 アブラナ科植物の異種花粉排除に関わる雌蕊 SPR11 タンパク質の機能解析 加藤義宣^{1,2}, 石田翔太^{1,3}, 木村友香¹, 田所駿¹, 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,4}(¹東大院・農生,²JST さきがけ,³農研機構・畜産研究部門,⁴サントリー-SunRISE)</p>	<p>1aF02 補色順化を制御する緑/赤色光受容体 RcaE の光変換機構の解析 加茂尊也, 浴後彦, 広瀬侑(豊橋技科大・院工)</p>	<p>1aG02 シロイヌナズナ塩順化後浸透圧耐性獲得変異株 <i>aot19</i> の原因遺伝子同定と解析 森研人¹, 田村将士¹, 田中啓介², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²東京農大・生物資源ゲノム解析センター)</p>	<p>1aH02 HITS-CLIP によるクラミドモナス miRNA 標的遺伝子の同定 山崎朋人¹, 高橋弘喜²(¹高知大・理工,²千葉大・真菌医学)</p>			09:45
<p>1aE03 クチクラはアブラナ科種間生殖障壁として機能する 加藤義宣^{1,2}, 木村友香¹, 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,3}(¹東大院・農生,²JST さきがけ,³サントリー-SunRISE)</p>	<p>1aF03 避陰応答によるエチレン合成制御機構の解析 小塚俊明¹, 坂本昌悟¹, 福田智代¹, 山谷浩史², 草場信¹(¹広島大・統合生命科学,²農研機構・作物研究部門)</p>	<p>1aG03 浸透圧耐性シロイヌナズナ <i>accession</i> から得られた塩馴化後浸透圧耐性欠損変異株 <i>aod10</i> の遺伝学的解析 高橋弥子¹, 有賀裕剛², 田中啓介³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²農研機構・遺伝子資源,³東京農大・ゲノムセンター)</p>	<p>1aH03 シロイヌナズナにおけるポリ A 分解酵素 AtCCR4a/b の葉の老化への影響 徳中琢¹, 鈴木悠也¹, 千葉由佳子^{1,2}(¹北大院・生命,²北大・理)</p>			10:00
<p>1aE04 ㊦ Meiosis specific glucan synthase regulates proper timing of meiosis initiation and progression in rice anthers Harsha Somashekar^{1,2}, Manaki Mimura¹, Katsutoshi Tsuda^{1,2}, Ken-ichi Nonomura^{1,2}(¹Plant Cytogenetics Laboratory, Department of Gene Function and, Phenomics, National Institute of Genetics, ²Department of Genetics, School of Life Science, The Graduate University of Advanced Studies (SOKENDAI))</p>	<p>1aF04 phyA の N-PAS 領域による避陰応答の抑制 篠原加奈子, 望月伸悦, 鈴木友美, 長谷あきら(京大・院理)</p>	<p>1aG04 CAT1ON CALCIUM EXCHANGER4 は浸透圧耐性を付与する 金盛一¹, 西村浩二², 有賀裕剛³, 佐藤雅彦⁴, 田中啓介⁵, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²鳥根大・生命科学,³農研機構・遺伝子資源,⁴京都府立大・生命環境科学,⁵東京農大・ゲノムセンター)</p>	<p>1aH04 mRNA 3'UTR の長さを制御する <i>AICFI</i> 25 の機能解析 張晚娟¹, 野元美佳^{2,3}, Marta Garcia-León⁴, 高橋直紀⁵, 加藤真理子¹, 由良敬^{6,7,8}, 梅田正明⁵, Vicente Rubio⁴, 多田安臣^{2,3}, 古本強⁹, 青山卓史¹, 拓植知彦¹(¹京都大・化研,²名古屋大・遺伝子,³名古屋大・院理学,⁴CSIC, Centro Nacional de Biotecnologia, ⁵奈良先端大・先端科学技術,⁶早稲田大・先進理工,⁷お茶の水大・院人文創成科学,⁸お茶の水大・文理融合AI・データサイエンス,⁹龍谷大・院農学)</p>			10:15
<p>1aE05 シロイヌナズナ花粉管は先端から核を排除した状態でも伸長制御能力を保持している 元村一基^{1,2,3}, 杉直也⁴, 松本歩¹, 武内秀憲^{3,5}, 野田口理孝^{3,6}, 東山哲也^{3,7,8}, 木下哲⁴, 山岡高平⁹, 竹田篤史¹⁰, 丸山大輔⁴(¹立命館大・総研,²JST・さきがけ,³名古屋大・WPI-ITbM,⁴横浜市大・木原生研,⁵名古屋大・高等研究院,⁶名古屋大・生物機能開発利用研究センター,⁷名古屋大・院・理,⁸東大院・理,⁹京都大・院生命科学,¹⁰立命館大・院生命)</p>	<p>1aF05 海生種子植物アマモの青色光応答性とフォトロボットの解析 三浦直也, 塩田肇(横浜市立大・院生命科学)</p>	<p>1aG05 イネのカリウム・ナトリウム輸送体 <i>HKT2:1</i> の欠損がセシウム吸収・輸送へ与える影響 萱野里美^{1,5,6}, 藤村恵人², 古川純^{4,5}, 高橋純子^{4,5}, 李晨熈⁵, 信濃卓郎^{2,3}, Nathalie Leonhardt⁶(¹名古屋大学・高等研究院,²農研機構東北農業研究センター,³北海道大学農学部,⁴筑波大学アイトープ環境動態研究センター,⁵筑波大学生命環境,⁶フランス原子力・新エネルギー庁研究所)</p>	<p>1aH05 microRNA319 標的遺伝子の進化的解析 三神和敬, 都筑正行, 渡邊雄一郎(東大・院総合文化)</p>			10:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月22日(火) 午前(9:30-12:15)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	植物生物間相互作用 B	膜交通	一次代謝
10:45	<p>1aA06 シロイヌナズナ光呼吸変異体 <i>glu1/gln2</i> における光合成及び P700 酸化への影響の解析 和田慎也¹, 丸田隆典², 三宅親弘¹ (1神戸大・院・農, ²鳥根大・生物資源)</p>	<p>1aB06 ミヤコグサ根粒過剰着生株の成長および代謝生理解析 川出健介^{1,2,3}, 杉浦大輔⁴, 及川彰^{3,5}, 川口正代司^{1,2} (1基生研・共生システム, ²総研大・生命科学, ³理研CSRS, ⁴名大・院・生命農学, ⁵京大・院・農)</p>	<p>1aC06 シロイヌナズナ SYP123-VAMP727 SNARE 複合体は、根毛側面への二次細胞壁成分の輸送に関与する 佐藤雅彦¹, 海老根一生², 上田貴志², 楢垣匠³, 紺野宏記⁴, 中山隆宏⁴, 平野朋子¹ (1京都府立大・院生命環境, ²基生研・細胞動態, ³熊本大・院先端科学, ⁴金沢大学・ナノ生命科学)</p>	<p>1aD06 <i>Synechococcus</i> PCC 7942 におけるイネ由来澱粉合成酵素、枝作り酵素の複数アインザイムの共発現 鈴木英治, 吉村仁, 石井湧人, 鈴木龍一郎 (秋田県立大・生物資源科学)</p>
11:00	<p>1aA07 光合成誘導期におけるクロロフィル蛍光・吸光パラメーター変動への葉の老化の影響の解析 田中雄貴¹, 杉本将隆¹, 大西美帆^{1,2}, 古谷吏祐^{1,2}, 田中颯真¹, 鈴木武志^{1,2}, 和田慎也^{1,2}, 三宅親弘^{1,2} (1神戸大 農, ²JST CREST)</p>	<p>1aB07 フォスファチジルイノシトール輸送タンパク質が調整する根粒菌感染機構の解明 赤松明, 武田直也 (関西学院大・生命環境)</p>	<p>1aC07 ㊦ Deubiquitinating enzymes limit the degradation of brassinosteroid receptor BRI1 in <i>Arabidopsis</i> Yongming Luo¹, Junpei Takagi², Lucas A.N. Claus^{3,4}, Chao Zhang³, Shigetaka Yasuda¹, Yoko Hasegawa¹, Junji Yamaguchi², Libo Shan⁶, Eugenia Russinova^{3,4}, Takeo Sato² (1Grad. Sch. Sci., Hokkaido Univ., ²Pac. Sci., Hokkaido Univ., ³Department of Plant Biotechnology and Bioinformatics, Ghent Univ., Belgium, ⁴Center for Plant Systems Biology, VIB, Belgium, ⁵Department of Plant Pathology & Microbiology, Texas A&M Univ., USA, ⁶Department of Biochemistry & Biophysics, Texas A&M Univ., USA)</p>	<p>1aD07 シアノバクテリアにおける光合成開始時の代謝ダイナミクスの定量的解析 田中謙也^{1,2}, 松田真実³, 白井智量⁴, 進沼誠久^{1,3} (1神戸大・先端バイオ工研セ, ²阪大院・基礎工太陽エネ研セ, ³神戸大院・科技イノベ, ⁴理研・環境資源)</p>
11:15	<p>1aA08 ㊦ Does the CrPTOX2-dependent safety valve complement the defects in cyclic electron transport in <i>Arabidopsis</i>? Qi Zhou¹, Caijuan Wang², Hiroshi Yamamoto¹, Toshiharu Shikanai¹ (1Department of Botany, Graduate School of Science, Kyoto University, ²Guangdong Key Lab of Biotechnology for Plant Development, School of life Sciences, South China Normal University)</p>			<p>1aD08 窒素欠乏条件下における高親和性尿素輸送担体の役割 小島創一¹, バイヤーマーセル^{1,2} (1東北大・院農学, ²北大・院理学)</p>
11:30	<p>1aA09 緑色硫黄細菌の光合成反応中心におけるFMO タンパク質の可逆的な結合と解離 稲垣知寒, 寺内一姫, 浅井智広 (立命大・院生命科学)</p>			<p>1aD09 イネにおける液胞膜グルタミン排出型輸送体の役割 早川俊彦¹, 小笠原早織¹, 江崎正隆¹, 末吉邦², 齋藤俊也³, 工藤徹⁴, 小島創一¹, 魚住信之³ (1東北大・院農学, ²新潟大・農学, ³東北大・院工学, ⁴アックプランタ(株))</p>
11:45				<p>1aD10 単細胞紅藻において機能未知タンパク質 CmNDB1 が CmMYB1 制御下硝酸同化遺伝子群の発現を窒素充足条件下において負に制御する 周柏峰^{1,2}, 島弘季³, 五十嵐和彦³, 高谷和宏⁴, 田中寛², 今村壮輔^{2,4} (1東工大・院生命理工学, ²東工大・化生研, ³東北大・大学院医学系研究科, ⁴NTT宇宙環境エネルギー研究所)</p>
12:00				<p>1aD11 オミックス解析を用いた低 NH₄⁺ 濃度環境でイネの生長に寄与する代謝応答と制御因子の探索 豊田圭又¹, 西澤真子², 小泉美希子², 小林誠², 七夕高也³, 福島敦史⁴, 齊藤和季², 草野都^{2,5,6} (1筑波大・生物資源, ²理研・CSRS, ³かずさDNA研究所, ⁴京都府立大学・生命環境科学, ⁵筑波大・生命環境系, ⁶つくば機能植物イノベーション研究センター)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間
生殖成長	光受容体/光応答	環境応答 B	転写・転写後/ 翻訳・翻訳後制御			
<p>1aE06 Semi-dry 花粉管伸長系を基盤とした環境ストレス依存的な細胞内驚動の発見 杉直也, 木下哲, 丸山大輔(横浜市大・木原生研)</p>	<p>1aF06 ER 膜屈曲の調節因子であるレティキュロンはゼニゴケにおいて葉緑体定位運動を促進する 石川一也¹, 今野涼太¹, 藤井雄太¹, 藤原正幸², 深尾陽一郎³, 児玉豊¹(¹宇都宮大・バイオセンター, ²ヤンマーホールディングス株式会社, ³立命館大・生命科学)</p>	<p>1aG06 双子葉植物における「ムギネ酸類誘導体-鉄錯体」のトランスポート活性検証 内川佳典¹, 鈴木基史², 井上晴彦^{1,3}(¹東京理科大学, ²愛知製鋼株式会社, ³農研機構)</p>	<p>1aH06 シロイヌナズナの miRNA 生産における DICER-LIKE 1 C 末端領域の重要性の再検証 橋本梨乃¹, 都筑正行², 東山哲也^{1,3}, 渡邊雄一郎^{1,2}(¹東京大・院・理, ²東京大・院・総合文化, ³名古屋大・ITbM)</p>	<p>シンポジウム S O 1 ゲノムと新技術が磨くバイオリソース (9:30-12:22)</p>	<p>シンポジウム S O 2 環境の不規則な経時変動に対するステージゲート応答 (9:30-12:30)</p>	10:45
<p>1aE07 ㊦ Functional analysis of the endosperm genes expressed in an embryonic development-dependent manner in Arabidopsis Yilin Zhang¹, Daisuke Maruyama², Erika Toda^{3,4}, Takashi Okamoto³, Nobutaka Mitsuda⁵, Hironori Takasaki¹, Masaru Ohme-Takagi^{1,6}(¹Grad. Sch. Sci. Eng., Univ. Saitama, ²KIBR., City Univ. Yokohama, ³Dept. Biol. Sci., Metro. Univ. Tokyo, ⁴Dept. Biol. Sci., Univ. Tokyo, ⁵Bioprod. Res. Inst., AIST, ⁶Institute of Tropical Plant Science and Microbiology, NCKU)</p>	<p>1aF07 ゼニゴケにおいてフォトリポピンの二量体化は葉緑体運動に必須ではない 野口穂, 児玉豊(宇都宮大・バイオセンター)</p>	<p>1aG07 亜鉛蓄積能が異なるミヤコグサ 2 系統における ⁶⁵Zn 動態の可視化と輸送関連遺伝子の解析 野田祐作¹, 鈴木伸郎¹, 尹永根¹, 河地有木¹, 吉川純²(¹量研・高崎量子応用研究所, ²筑波大・生命環境系)</p>	<p>1aH07 アグロインフィルトレーションにおける T-DNA の違いによる遺伝子サイレンシング誘導への影響 飯田笑美¹, 栗山和典¹, 田原緑², 竹田篤史², 鈴木信弘⁴, 森山裕充¹, 福原敏行¹(¹農工大・院農学, ²立命館大・院生命科学, ³立命館大学・R-GIRO, ⁴岡山大・資源植物研)</p>			11:00
<p>1aE08 【演題取り下げ】</p>		<p>1aG08 ㊦ Precious metal recovery from urban mines using a hot spring alga <i>Galdieria sulphuraria</i> Eri Adams^{1,2}, Kazuki Maeda^{1,2}, Tatsuya Kato^{2,3}, Chiharu Tokoro²(¹Galdieria, Co., Ltd., ²Waseda University, ³Department of Physical Science and Engineering, Nagoya Institute of Technology)</p>	<p>1aH08 ダイズ黄色種皮特異的な RNA 干渉とダイサー活性の関係 山梨里歩¹, 栗山和典¹, 田原緑², 森山裕充¹, 福原敏行¹(¹農工大・院生物制御科学, ²立命大・R-GIRO)</p>			11:15
<p>1aE09 核膜融合タンパク質シロイヌナズナ GEX1 の機能領域の解析 加藤イヅ, 宮園治, 西川周一(新潟大・理)</p>		<p>1aG09 イネ OsbZIP83 転写因子はユビキチンリガーゼ OsHRZ の制御下で鉄の体内輸送を促進する 小林高純¹, 新川はるか¹, 永野博^{2,3}, 西澤直子¹(¹石川県大・生物資源工学, ²龍谷大・農, ³慶応大・先端生命科学)</p>				11:30
		<p>1aG10 イネのグルタレドキシンはユビキチンリガーゼ HRZ の制御下で鉄の利用を調節する 新川はるか¹, 小林高純¹, 永野博^{2,3}, 西澤直子¹(¹石川県大・資源研, ²龍谷大・農, ³慶応大・IAB)</p>				11:45
		<p>1aG11 イネ根圏における鉄還元菌の活性には地上部と地下部の重量比が関与する 矢本貴也(東大・農学部)</p>		12:00		

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 1 日 3 月 22 日 (火) 午後 (13:45-16:15)


時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	植物生物間相互作用 B	オルガネラ/細胞骨格	一次代謝
13:45	<p>1pA01 光化学系 II と人工電子受容体との相互作用メカニズムの構造的解明 鎌田真慈¹, 中島芳樹², 沈建仁² (岡山大学・理学部, ²岡山大学・異分野基礎研)</p>	<p>1pB01 コメの食味向上に寄与する微生物叢の検出 加藤宏幸¹, 金森裕之², 熊谷真彦³, 後藤元⁴, 井上晴彦⁵, 堀清純^{1,2} (東大院・新領域, ²農研機構・作物研, ³農研機構・高度分析セ, ⁴山形県農業総合研究センター, ⁵農研機構・生物研)</p>	<p>1pC01 液-液相分離する緑藻ピレノイドの CO₂ 濃度変化における動態解析 小峠達夫¹, 山野隆志, 福澤秀哉 (京都大・院生命)</p>	<p>1pD01 イネの窒素欠乏応答機構における OsbZIP11 転写因子の役割 大槻並枝¹, 植田佳明², 櫻庭康仁¹, 柳澤修一¹ (東大・農, ²国際農研生産環境・畜産領域)</p>
14:00	<p>1pA02 Y 存在下で培養した高熱性シアノバクテリア <i>Thermosynechococcus vulcanus</i> の光化学系 II の精製・結晶化・X 線結晶構造解析 藤井直, 中島芳樹, 沈建仁 (岡山大学・自然科学研究科)</p>	<p>1pB02 根粒形成における共生シグナルによる細胞周期再活性化機構の解明 杉山輝樹, 林誠 (理化学研究所 環境資源科学センター)</p>	<p>1pC02 膜を有さない核内構造体カハールボディはシロイヌナズナの高温への応答に関与している 太田翔平¹, 櫻井貴之², 嶋田知生², 田村謙太郎¹ (静大院・薬食・環境, ²京大院・理・生物)</p>	<p>1pD02 ㊦ The role of Dof1.7 transcription factor in NIGT1-regulated nitrogen deficiency responses in Arabidopsis Mengna Zhuo, Yasuhiro Sakuraba, Shuichi Yanagisawa (Grad. Sch. Agri. Life Sci. Univ. Tokyo)</p>
14:15	<p>1pA03 光化学反射指数 (PRI) の光誘導キネティックス 上妻馨梨, 彦坂幸毅 (東北大学・生命)</p>	<p>1pB03 ㊦ Attachment to multiple <i>Medicago sativa</i> hosts does not cause increased benefit to facultative root hemiparasite <i>Phtheirospermum japonicum</i> growth Frederica Clarissa Frances¹, Louis John Irving² (Grad. Sch. Sci. Tech., Univ. of Tsukuba, ²Fac. Life Environ. Sci., Univ. of Tsukuba)</p>	<p>1pC03 インポーチン α (IMPA) は植物の免疫応答を抑制する 森愛理¹, Valerie Gaudin², 田村謙太郎¹ (静大院・食品・環境生命, ²IJPB, Inra, France)</p>	<p>1pD03 グルタミンによる窒素応答関連遺伝子の発現抑制における LBD タンパク質の役割 島井要佑, 小西美穂子, 櫻庭康仁, 柳澤修一 (東大・院農)</p>
14:30	<p>1pA04 Flavodiiron protein の導入は Rubisco activase 過剰発現イネにおける PSI 電子伝達異常を回復させる 菅波直史^{1,2}, 今野壮², 丸橋凌², 高木大輔³, 田副雄士⁴, 和田慎也⁵, 山本宏⁶, 鹿内利治⁶, 石田宏幸², 鈴木雄二⁷, 牧野周² (福島大学食農学類附属発酵醸造研究所, ²東北大学大学院農学研究科, ³摂南大学農学部, ⁴新潟食料農業大学食料産業学科, ⁵神戸大学大学院農学研究科, ⁶京都大学大学院理学研究科, ⁷岩手大学農学部)</p>	<p>1pB04 植物共生菌の活用によるトマト青枯病防除技術の開発 田中江梨子^{1,2}, 藤原正幸¹, 植嶋理華子¹, 梅木大輔¹, 西條雄介² (ヤンマーホールディングス株式会社, ²奈良先端科学技術大学院大学)</p>	<p>1pC04 植物ステロールの細胞内における生合成及び貯蔵部位の探索 磯部一樹¹, 米谷友里¹, 島田貴士², 西村いくこ³, 太田大策^{1,4} (大阪府大・院生命環境, ²千葉大・院園芸, ³甲南大・理工, ⁴21 世紀科学研究センター・バイオエコノミー研究所)</p>	<p>1pD04 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 の強光で活性化される膜脂質の脱アシル化は sn-1 位で起こる 高谷信之¹, 妹尾勇弥², 池田和貴², 愛知真木子³, 和田元⁴, 小俣達男¹ (名大・院・生命農, ²かずさ DNA 研・ゲノム事業, ³中部大・応用生物, ⁴東大・院・統合文化)</p>
14:45	<p>1pA05 光化学系 II の修復におけるガラクトリパーゼ A1 の役割 神保晴彦, 和田元 (東京大学大学院総合文化研究科)</p>	<p>1pB05 寄生植物と宿主植物の相互作用における細胞内膜輸送の関与 西木理沙, 青木考 (大阪府大・院生命環境)</p>	<p>1pC05 ユビキチン系に制御されたバルオキシソームタンパク質輸送系の解析 真野昌二^{1,2}, 林八寿子^{3,4}, 曳野和美¹, 大友政義⁵, 金井雅武¹, 西村幹夫⁵ (基生研・細胞生物, ²総合研究大学院大・生命科学, ³新潟大・理・自然環境, ⁴新潟大・院・自然科学, ⁵甲南大・理工・生物)</p>	<p>1pD05 ゼニゴケ GPAT 遺伝子群の表層脂質合成における機能の解析 善喜登¹, 堀孝一¹, 井原雄太¹, 石崎公庸², 下嶋美恵¹, 太田啓之¹ (東京工業大学 生命理工学院, ²神戸大学大学院 理学研究科 生物学専攻)</p>
15:00	<p>1pA06 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 における膜脂質組成が光化学系 II 複合体に与える影響 高木健輔, 平嶋孝志, 神保晴彦, 和田元 (東京大学大学院総合文化研究科)</p>	<p>1pB06 宿主植物の養分状態はホロパラサイト植物ヤセウツボとクローバー植物の相互作用に影響する 服部真史 (筑波大学・生命環境系)</p>	<p>1pC06 接木後の組織修復におけるオートファジー誘導の発見 墨谷賢一¹, 田畑亮², 川勝弥一², 杉田亮平³, 岡安浩次², 田野井慶太郎⁴, 野田口理孝^{1,2,5} (名古屋大・生物センター, ²名古屋大・院生命農学, ³名古屋大・アイトープ総合センター, ⁴東京大・院農学生命科学, ⁵名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所)</p>	<p>1pD06 トマトにおける HISE1 のステロール代謝制御機構は生存に必須である 屋亦雄斗¹, 江面健太郎², 菅野茂夫², 庄司翼³, 高野耕司³, 岡咲洋三^{3,4}, 斎藤和季^{1,3}, 上田晴子⁵, 西村いくこ⁵, 島田貴士¹ (千葉大学, ²産総研, ³理研, ⁴三重大学, ⁵甲南大学)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間
生殖成長	光受容体/光応答	環境応答 B	転写・転写後/ 翻訳・翻訳後制御	シンボジウム S O 3 植物 RNA 分子生物学の最先端と配列・構造・機能	シンボジウム S O 4 動植物と建築におけるセンサーとアクチュエータ (13:45-16:45)	
<p>1pE01 ゼニゴケの精子誘引における Plasma Membrane Ca²⁺-ATPase の機能 宮崎まどか¹, 平尾聖², 十川太輔¹, 大和勝幸² (1) 近大・院・生物理工, (2) 近大・生物理工)</p>	<p>1pF01 低温での光依存的な気孔開口における脂質輸送体フリッパーゼの関与 石丸優¹, 長谷あきら², 鈴木友美² (1) 京大・院理学, (2) 京大)</p>	<p>1pG01 ㊦ Ethanol treatment enhances drought stress tolerance in plants Khurram Bashir, Sultana Rasheed, Daisuke Todaka, Akihiro Matsui, Zarnab Ahmad, Yoshinori Utsumi, Vu Anh Thu, Satoshi Takahashi, Maho Tanaka, Junko Ishida, Yuuri Tsuboi, Shunsuke Watanabe, Eigo Ando, Makoto Seito, Hinata Motegi, Saya Kikuchi, Makoto Kobayashi, Miki Fujita, Fuminori Takahashi, Miyako Kusano, Yoshiki Habu, Kanako Kawaura, Jun Kikuchi, Masami Yokota Hirai, Mitsunori Seo, Kazuo Shinozaki, Toshinori Kinoshita, Motoaki Seki</p>	<p>1pH01 DNA二本鎖切断の修復は周辺のプロモータークロマチン構造および転写状態に作用する 川口晃平¹, 風間明¹, 畑貴之², 高田直東¹, 早川千明¹, 松尾充啓², 小保方潤一², 佐藤社一郎¹ (1) 京都府大院・生命環境, (2) 撰南大・農)</p>	シンボジウム S O 3 植物 RNA 分子生物学の最先端と配列・構造・機能 (13:45-16:45)	シンボジウム S O 4 動植物と建築におけるセンサーとアクチュエータ (13:45-16:45)	13:45
<p>1pE02 被子植物の花粉管受精を革新した受容体モジュールの同定 長江拓也¹, 内木希美¹, 井本美紀¹, 永原史織², 東山哲也^{1,2,4}, 別所上原奏子⁵, 武内秀憲^{2,3} (1) 名大・院・理, (2) 名大・ITbM, (3) 名大・高等研究院, (4) 東大・院・理, (5) 東北大・院・生命科学)</p>	<p>1pF02 フォトトロピンとの相互作用と青色光応答に関する脂質輸送体フリッパーゼの解析 鈴木友美¹, 石丸優¹, 四方明格^{2,3}, 長谷あきら¹ (1) 京大・院理学, (2) 基生研・植物環境応答研究部門, (3) 科学技術振興機構・さきがけ)</p>	<p>1pG02 ㊦ Ethanol treatment enhances drought stress avoidance in cassava (<i>Manihot esculenta</i> Crantz) Anh Thu Vu^{1,6}, Yoshinori Utsumi¹, Maho Tanaka^{1,2}, Chikako Utsumi¹, Daisuke Todaka¹, Satoshi Takahashi^{1,2}, Yuri Kanno¹, Mitsunori Seo¹, Eigo Ando³, Kaori Sako^{1,4}, Khurram Bashir^{1,5}, Toshinori Kinoshita², Xuan Hoi Pham⁶, Motoaki Seki^{1,2,7} (1) CSRS, RIKEN, (2) CPR, RIKEN, (3) WPI-ITbM, Nagoya Univ., (4) Dep. Adv. Bloci. Kindai Univ., (5) Dep. Biol. Lahore Univ. Management Sci., (6) Agricultural Genetics Inst. Vietnam, (7) Kihara Inst. Biol. Yokohama City Univ.)</p>	<p>1pH02 ヒストン H2A.Z がシロイヌナズナ近縁系統間の遺伝子発現の多様化に与える影響 向江和輝¹, 川口晃平¹, 畑貴之², 小保方潤一², 佐藤社一郎¹ (1) 京都府大院・生命環境, (2) 撰南大・農)</p>			14:00
<p>1pE03 アブラナ科植物である尾上菜が示す自家不和合性の分子機構解析 尾西晃一¹, 池田直樹¹, 中川幸彦², 小倉淳^{1,2,3}, 久保健一², 森見植^{1,2,3} (1) 長浜バイオ大院・バイオ, (2) 長浜バイオ大・バイオ, (3) 長浜バイオ大・ゲノム編集研究所)</p>	<p>1pF03 葉緑体で CPD 光回復酵素が機能しない植物の葉緑体定位運動と UVB 抵抗性 大竹桃¹, 末次憲之², 寺西美佳¹, 愿山(岡本)郁¹, 和田正三³, 日出間純¹ (1) 東北大・院生命科学, (2) 東京大・院総合文化, (3) 東京大・院理学)</p>	<p>1pG03 ヒメツリガネゴケにおける B-RAF を介した ABA および浸透圧ストレス応答経路で働くタンパク質群の相互作用解析 宮部マルコステキ¹, 鳥山士¹, 竹澤大輔², 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ (1) 農大・院・バイオ, (2) 埼玉大・理工学研究科)</p>	<p>1pH03 アサガオの花弁周縁部に特異的な三重化した遺伝子の RNA サイレンシング 中川颯也^{1,2}, 朴慶一³, 森田裕将⁴, 飯田滋¹, 星野敦^{1,5} (1) 基生研, (2) 宮崎大・院・農, (3) 撰南大・応用生命科学, (4) 名城大・農, (5) 総研大・生命科学)</p>			14:15
<p>1pE04 アマモ花柱はオーキシンに誘導された細胞伸長で屈曲する 小畑美咲¹, 菊池珠江¹, 中村郁子^{1,2}, 嶋田幸久^{1,2}, 塩田肇¹ (1) 横浜市立大学院生命ナノシステム科学研究科, (2) 横浜市立大学木原生物学研究所)</p>	<p>1pF04 青色光に応答した気孔開口における BLUS1 結合因子の機能解析 田原京佳, 武宮淳史 (山口大院・創成科学)</p>	<p>1pG04 ㊦ Forward genetic analysis of ethylene receptor-related histidine kinases responsible for the activation of B3-RAF in the moss <i>Physcomitrium patens</i> Rahul Sk¹, Marcos Takeshi Miyabe¹, Daisuke Takezawa², Izumi Yotsui¹, Teruaki Tajiri¹, Yoichi Sakata¹ (1) Tokyo Univ. Agri., Dept. Bioscience, (2) Saitama Univ., Grad. Sch. Sci. and Eng.)</p>	<p>1pH04 通水細胞形成マスター転写因子 VNS ファミリーのシス配列結合親和性の分子進化 秋吉信宏^{1,2}, 田村泰造², 出村拓^{2,3,4}, 大谷美沙都^{1,2,3} (1) 東大・院新領域, (2) 奈良先端大・バイオ, (3) 理研・CSRS, (4) 奈良先端大・CDG)</p>			14:30
<p>1pE05 心皮周縁部の発生における CUP-SHAPED COTYLEDON 遺伝子群とサイトカニン・シグナルとの相互作用 Jose Irepan Reyes-Olalde^{1,2}, Stefan de Folter³, 相田光宏⁴ (1) Dept. Ecol. Funct., Univ. NAM, Mexico, (2) Lab. Fitoquim., Univ. EVT, Mexico, (3) UGA-LANGEBIO, CINVESTAV-IPN, Mexico, (4) 熊大・IROAST)</p>	<p>1pF05 ㊦ Towards a better understanding of the molecular mechanisms that govern AHL-mediated repression of PIP-activated gene transcription David Favero¹, Ayako Kawamura¹, Arika Takebayashi¹, Akira Iwase¹, Keiko Sugimoto^{1,2} (1) RIKEN Cent. Sust. Res. Sci., (2) Dep. Biol. Sci., Univ. Tokyo)</p>	<p>1pG05 ヒメツリガネゴケにおけるセンサーヒステジンキナーゼによる ABA 及びエチレンシグナルの制御機構解析 篠澤章久¹, 鳥山士², 猿橋正史³, 平出真由桂³, 竹澤大輔³, 四井いずみ², 太治輝昭², 坂田洋一² (1) 東京農科大学 生物資源ゲノム解析センター, (2) 東京農科大学 バイオサイエンス学科, (3) 埼玉大 理工学研究科)</p>	<p>1pH05 色素体セリン合成系酵素 3-ホスホグリセリン酸ヒドロクネターゼのリン酸化上村樹紀子^{1,2}, 吉田啓亮^{1,2}, Chris White-Gloria³, Greg B. Moorhead³, 若林憲一^{1,2}, 久堀徹^{1,2} (1) 東京工業大学・科学技術創成研究院・化学生命科学研究所, (2) 東京工業大学・生命理工学院, (3) Department of Biological Sciences, University of Calgary)</p>			14:45
<p>1pE06 イネの TAB1 遺伝子は花メリステム維持を通じて胚珠形成を促している 田中若奈¹, 大森涼葉^{2,3}, 川上直人^{3,4}, 平野博之² (1) 広島大・院統合生命科学, (2) 東大・院理学, (3) 明治大・院農学, (4) 明治大・農学)</p>	<p>1pF06 緑藻テトラバエナ(シアワセモ)の光行動と光防御能 丹野明日翔^{1,2}, 得津隆太郎^{3,4}, 新垣陽子⁵, 植木紀子⁶, 皆川純^{3,4}, 吉村建二郎⁷, 久堀徹^{1,2}, 野崎久義^{5,8}, 若林憲一^{1,2} (1) 東工大・化生研, (2) 東工大・生命理工, (3) 基生研・環境光生物, (4) 総研大, (5) 東大・院理・生物科学, (6) 法政大・自然科学センター, (7) 芝工大・システム理工, (8) 環境研・生物多様性)</p>	<p>1pG06 ヒメツリガネゴケにおける浸透圧応答に関与するエチレン受容体関連ヒステジンキナーゼの機能分析 松村拓樹¹, 宮部マルコステキ¹, 鳥山士¹, 篠澤章久², 竹澤大輔³, 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ (1) 東京農大・院・バイオサイエンス, (2) 東京農大・生物資源ゲノム解析センター, (3) 埼玉大・理工学)</p>	<p>1pH06 シロイヌナズナ脱黄化における翻訳効率の解析 赤木千佳^{1,2}, 栗原志夫², 蒔田由布子², 河内正治², 柘植知彦¹, 青山卓史¹, 松井南² (1) 京都大学化学研究所, (2) 理化学研究所環境資源科学センター合成ゲノミクス研究グループ)</p>			15:00

㊦ = 発表の言語は英語

● 第 1 日 3 月 22 日 (火) 午後 (13:45-16:15)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	植物生物間相互作用 B	オルガネラ/細胞骨格	一次代謝
15:15	<p>1pA07 フェレドキシン/チオレドキシン系の完全破壊株シロイヌナズナの解析 吉田啓亮, 横地佑一, 田中寛, 久堀徹 (東工大・化学生命研)</p>		<p>1pC07 ペルオキシソームのオートファジー分解に関わる PEUP10 タンパク質の解析 後藤(山田)志野¹, 及川和聡², 真野昌二^{2,3}, 西村幹夫⁴, 山田健志¹ (1)MCB・ヤギェウォ大学, (2)基生研・細胞生物, (3)総合研究大学院大・生命科学, (4)甲南大・理工・生物)</p>	<p>1pD07 シアノバクテリアにおける diacylglycerol acyltransferase 2 (DGAT2) オルソログの機能解析 高野駿也, 石川寿樹, 厚沢季美江, 田中元樹, 金子康子, 日原由香子 (埼玉大・院・理工)</p>
15:30	<p>1pA08 イネの <i>OsASI</i> と <i>OsRBCS</i> 遺伝子プロモーター配列内における NH₄⁺ 応答領域の探索 YoonDong Kyung, 佐藤詩織, 近藤依里, 石田宏幸, 前忠彦, 牧野周, 小島創一, 石山敬貴 (東北大・院・農)</p>		<p>1pC08 マクロオートファジー関連タンパク質 ATG2 のミクロオートファジーにおける機能解析 柳生真子, 吉本光希 (明治大・院・農)</p>	<p>1pD08 緑藻クラミドモナスの硫黄欠乏応答におけるコイルドコイルドメイン含有タンパク質 (CCDC) の機能 辻敬典¹, 岡田祐也¹, 長房すずか¹, 宮本明日香¹, 新川はるか^{1,2}, 新川友貴¹, 山野隆志¹, 梶川昌孝^{1,3}, 福澤秀哉¹ (1)京大・院・生命, (2)石川県立大・生物資源, (3)近畿大・生物理工)</p>
15:45	<p>1pA09 緑藻クラミドモナスの CO₂ 濃縮機構を制御する CCML/CBP1 複合体の機能 安田詢子, 嶋村大亮, 大垣美萌, 山原洋佑, 中野博文, 山野隆志, 福澤秀哉 (京大・院・生命)</p>		<p>1pC09 直接的なアクチンイメージングを旨とした機能的なアクチン修飾法の開発 貴嶋紗久¹, 坂本真吾², 光田展隆², 小田祥久^{1,3} (1)遺伝研・遺伝形質, (2)産総研・生物プロセス, (3)総研大・遺伝学)</p>	
16:00	<p>1pA10 緑藻クラミドモナスが持つピレノイドの形態変化は CO₂ 濃縮機構に関わる遺伝子の発現に影響を与える 嶋村大亮, 新川友貴, 胡東輝, 山野隆志, 福澤秀哉 (京都大・院生命科学)</p>			

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間
生殖成長	光受容体/光応答	環境応答 B	転写・転写後/ 翻訳・翻訳後制御			
<p>1pE07 シロイヌナズナの花弁脱離を制御するジャスモン酸を介したエビゲノム制御機構 古田優生, 山本春香, 山口暢俊, 伊藤寿朗(奈良先端大・バイオ)</p> <p>1pE08 受容体様キナーゼをコードするシロイヌナズナ <i>CRK14</i> 遺伝子は global proliferative arrest に関与する 石崎千理¹, 樋口真由¹, 松下侑真¹, 鈴木孝征², 望月伸悦³, 長谷あきら³, 上口智治¹(¹名古屋大学大学院生命農学研究科, ²中部大学応用生物学部, ³京都大学大学院理学研究科植物学教室)</p>		<p>1pG07 ヒメツリガネゴケ ABA 高感受性変異株の単離と解析 大矢遼太郎¹, 森川友理¹, 太治輝昭¹, 竹澤大輔², 坂田洋一¹, 四井いずみ¹(¹東京農大・バイオ, ²埼玉大・理工学研究科)</p> <p>1pG08 自動フェノタイプングシステム RIPPS による植物葉の水分欠乏応答解析 藤田美紀, 下田美由子, 野田美絵子, 篠崎一雄(理研 CSRS)</p> <p>1pG09  Spider silk expression in tobacco confers drought tolerance, with minimal effects on its mechanotypes Shamitha Rao Morey^{1,2}, Yoichi Hashida³, Masaki Odahara², Keiji Numata^{1,2} (¹Laboratory of Biomaterial Chemistry, Graduate School of Engineering, Kyoto University, ²Biomacromolecules Research Team, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, ³Faculty of Agriculture, Takasaki University of Health and Welfare)</p> <p>1pG10 植物の長期乾燥ストレスに対する生存戦略に関与する SNS1 の解析 片桐壮太郎, 神山佳明, 梅澤泰史(東京農工大学・院・BASE)</p>	<p>1pH07 シロイヌナズナの時計遺伝子 <i>LHY</i> における複数の uORF を介した翻訳抑制 青山悠¹, 伊勢由麻¹, 高橋明格², 山本雅², 千葉由佳子^{1,3}(¹北海道大・院生命科学, ²沖縄科学技術大学院大学, ³北海道大・院理学研究院)</p> <p>1pH08 雄しべの発生を制御する RNA サイレンシング 小宮怜奈(沖縄科学技術大学院大学)</p>	<p>シンポジウム S O 3 植物 RNA 分子生物学の最先端〜配列・構造・機能〜 (13:45-16:40)</p>	<p>シンポジウム S O 4 動植物と建築におけるセンサーとアクチュエータ (13:45-16:45)</p>	<p>15:15</p> <p>15:30</p> <p>15:45</p> <p>16:00</p>

 = 発表の言語は英語

● 第2日 3月23日(水) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	植物生物間相互作用 A	オルガネラ/細胞骨格	二次(特化)代謝
09:00	<p>2aA01 シアノバクテリアのアンテナ色素、フィコピリンの起源:好気的環境への適応進化説 伊藤久美子^{1,2}, 菅野里美², 藤井悠里^{1,3}, 大波千恵子⁴, 宮下英明³, 松尾太郎^{1,2} (1名古屋大学・大学院理学研究科, 2名古屋大学・高等研究院, 3京都大学大学院人間・環境学研究所, 4京都大学・総合人間学部)</p>	<p>2aB01 ㊦ Guanosine-specific Single-stranded Ribonuclease Effectors of a Phytopathogenic Fungus Potentiate Host Immune Responses Naoyoshi Kumakura¹, Suthitar Singkaravanit-Ogawa², Pamela Gan¹, Ayako Tsushima^{1,6}, Nobuaki Ishihama¹, Shunsuke Watanabe¹, Mitsunori Seo¹, Shintaro Iwasaki^{3,4}, Mari Narusaka⁵, Yoshihiro Narusaka⁵, Yoshitaka Takano², Ken Shirasu^{1,6} (1CSRS, RIKEN, 2Grad. Sch. Agr., Kyoto Univ., 3CPR, RIKEN, 4Grad. Sch. Frontier Sci., Univ. Tokyo, 5Research Inst. Biol. Sci., Okayama, 6Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)</p>	<p>2aC01 シロイヌナズナにおける単一 B-box 型 CONSTANS-LIKE 遺伝子の機能解析 鎧麻理, 倉本祥吾, 稲葉靖子, 稲葉丈人(宮崎大・農)</p>	<p>2aD01 海洋性珪藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> における葉緑体 ACCase1 の機能解析 奥田創, 松田祐介, 岡田祐也(関学大・院理工)</p>
09:15	<p>2aA02 緑色硫黄細菌の光合成反応中心に結合したメナキノン分子の迅速な HPLC 分析 吉野晴貴, 尾上靖宏, 寺内一姫, 浅井智広(立命大・院生命科学)</p>	<p>2aB02 ベチユニア内在性ウイルスの QTR 配列と複製・移行性の解析 栗山和典¹, 田原緑², 高橋英樹³, 森山裕充¹, 福原敏行¹ (1東京農工大, 2立命館大, 3東北大)</p>	<p>2aC02 シロイヌナズナ CONSTANS-LIKE6 と相互作用する因子の探索 清水秋帆, 木下寛子, 稲葉靖子, 稲葉丈人(宮崎大・農)</p>	<p>2aD02 ステロール 7 位還元反応を担うゼニゴケ DWF5A は葉状体の発達に関与する 畑田珠希¹, 秋山遼太¹, 石崎公庸², 水谷正治¹ (1神戸大・院農学, 2神戸大・院理学)</p>
09:30	<p>2aA03 ヘリオバクテリア光合成反応中心におけるカロテノイド励起後のエネルギー移動反応解析 小島理沙¹, 野原大暉², 浅井智広³, 小澄大輔⁴, 大岡宏造¹ (1阪大・院理, 2熊大・自然, 3立命大・生命科, 4熊大・産ナノマテ研)</p>	<p>2aB03 <i>Physcomitrium patens</i> におけるキチン誘導細胞死変異体(ccd1)の生理学的解析 市橋武, 安部優希, 太治輝昭, 坂田洋一, 四井いずみ(東農大・バイオ)</p>	<p>2aC03 シロイヌナズナ <i>CRL</i> は色素体 Omp85 ファミリータンパク質 OEP80 の複合体形成に関与する 吉村亮¹, 南河駿¹, 瀬田遼平¹, 鈴木孝征², David Latrasse³, Sicar Sanchari³, Cécile Raynaud³, Moussa Benhamed³, 吉岡泰¹ (1名大・理・生命理, 2中部大・応用生物, 3Inst. Plant Sci. Paris-Saclay, Univ. Paris-Sud)</p>	<p>2aD03 ステロイドグリコアルカロイド生合成に関わる 2-オキソグルタル酸依存性ジオキシゲナーゼ 秋山遼太¹, 中安大^{1,2}, 渡辺文太³, 加藤純平¹, 李榮宰¹, 飯島陽子⁴, 梅基直行⁵, 村中俊哉⁶, 齊藤和季^{5,7}, 杉本幸裕¹, 水谷正治¹ (1神戸大・院農学, 2京都大・生存圏, 3京都大・化研, 4工学院大・先進工学, 5理研・環境資源, 6大阪大・院工学, 7千葉大・植物分子)</p>
09:45	<p>2aA04 ツルマサキにおける α-carotene および lactucaxanthin の光化学複合体への結合下原かのこ, 高林厚史, 田中亮一(北大・低温研)</p>	<p>2aB04 ㊦ Immunity-related callose synthase regulates phosphate starvation response in <i>Arabidopsis thaliana</i> Kentaro Okada^{1,2}, Koei Yachi¹, Nguyen Tan Anh Nhi¹, Haruka Sumi¹, Satomi Kanno³, Tae-Hong Lee¹, Chika Tateda¹, Kei Hiruma¹, Takaki Maekawa⁴, Michitaka Notaguchi², Yusuke Saijo¹ (1Grad. Sch. Sci and Tech. NAIST, 2Biosci and Biotech Center, Nagoya Univ., 3Inst. Adv. Res., Nagoya Univ., 4Inst. Plant Sci, Cologne Univ.)</p>	<p>2aC04 葉緑体タンパク質輸送に関与するシロイヌナズナ <i>CRL</i> 遺伝子の解析 吉岡泰¹, 宮崎紗英¹, 吉村亮¹, 村田綾¹, 柴田奨梧¹, 浅野智哉², 南河駿¹, 瀬田遼平¹, 内田日向子¹, 野元美佳³, 多田安臣³, 鈴木孝征⁴, 秋田充⁵ (1名大院・理・生命理, 2金沢大・学際科学実験センター, 3名大・遺伝子, 4中部大・応用生物, 5愛媛大院・農・生命機能)</p>	<p>2aD04 ㊦ Investigation of the plant aroma glycosides for improving the tomato flavor Yingtao Li¹, Yusuke Kamiyoshihara², Yusuke Aono¹, Denise Tieman³, Harry Klee³, Miyako Kusano^{4,5,6} (1Degree Programs in Life and Earth Sciences, University of Tsukuba, 2College of Bioresource Sciences, Nihon University, 3Department of Horticultural Sciences, University of Florida, 4Faculty of life and environment science, University of Tsukuba, 5Tsukuba Plant Innovation Research Center, University of Tsukuba, 6RIKEN Center for Sustainable Resource Science)</p>
10:00	<p>2aA05 ㊦ Functional evaluation of the <i>chlL</i>, <i>chlN</i>, <i>chlB</i> genes for chlorophyll biosynthesis encoded by the non-photosynthetic plastid genome of a novel coral-inhabiting apicomplexa <i>Corallicolca aquarius</i> Nguyen Le¹, Haruki Yamamoto¹, Waldan Kwang², Patrick Keeling², Yuichi Fujita¹ (1Grad. Sch. Bioagricultural Sci., Nagoya Univ., 2Department of Botany, Univ. British Columbia)</p>	<p>2aB05 高湿度環境におけるアブジジン酸応答の不活化は病原細菌の水獲得を抑制する 安田盛貴, 平瀬大志, 石崎遼, 西條雄介(奈良先端大・先端科学技術)</p>	<p>2aC05 <i>Agrobacterium</i> サイトカイニン合成酵素 Tmr の宿主細胞内プラスチドへの輸送経路の解析 鈴木嵩弘, 橋本(杉本)美海, 森仁志, 木羽隆敏, 榎原均(名大院・生命農)</p>	<p>2aD05 ㊦ Comparative analysis of plant NADPH-cytochrome P450 reductase classes in <i>Lotus japonicus</i> towards triterpenoids biosynthesis Istindari Pramesti¹, Shuhei Yasumoto^{1,2}, Ery Odette Fukushima³, Hikaru Seki^{1,2}, Toshiya Muranaka^{1,2} (1Department of Biotechnology, Graduate School of Engineering, Osaka University, Suita, Osaka, Japan, 2Industrial Biotechnology Initiative Division, Institute for Open and Transdisciplinary Research Initiatives, Osaka University, Suita, Osaka, Japan, 3Universidad Regional Amazónica IKIAM, Via Muyuna Km 7, Tena, Ecuador)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間			
植物ホルモン/ シグナル伝達物質	花成/時計	環境応答 C	栄養成長						
<p>2aE01 シロイヌナズナのアブシシン酸不活性化鍵酵素を全て喪失した変異株の生理学的解析 宮田百華¹, 妻鹿良亮², 金俊植³, 瀬尾光範³, 南原英司⁴, 岡本昌憲¹ (1)宇都宮大学・バイオ,²山口大学,³理研・CSRS,⁴トロント大学)</p> <p>2aE02 シロイヌナズナにおける葉緑体外 OPDA 生産系の構築 金谷貴広, 井原雄太, 若松孝幸, 蛇谷裕輝, 太田啓之, 下嶋美恵 (東京工業大学・生命理工学院)</p> <p>2aE03 ゼニゴケにおけるジベレリンに関連したメチル基転移酵素機能に影響する新規変異体選抜 下川瑛太¹, 川村昇吾¹, Rui Sun¹, 鈴木かおり¹, 吉竹良洋¹, 安居佑季子¹, 西浜竜一², 山岡高平¹, 増口潔³, 山口信次郎³, 河内孝之¹ (1)京大・院・生命科学,²東京理科大・理工・応用生物,³京大・化学研究所)</p> <p>2aE04 ジベレリンによる花成制御の分子機構 深澤壽太郎, 大橋由紀, 中居可奈子, 高橋竜平, 高橋陽介 (広島大・院統合生命)</p> <p>2aE05 植物成長促進化合物 PPG ターゲットタンパク質の探索と分子機能解析 大島和真¹, 竹野駿^{2,3}, 田中翔太^{2,3}, 加賀慶也^{1,7}, 山上あゆみ¹, 嶋田勢津子², 松井南², 笈雄介⁴, 嶋田幸久⁴, 瀬上紹嗣⁵, 佐々木亮介², 平井優美², 近藤恭光², 堂前直², 久城哲夫³, 前島正義³, 浅見忠男⁶, 長田裕之², 篠崎一雄², 高木優⁷, 中野雄司¹ (1)京大・院生命,²理研・CSRS,³明治大院・農芸化学,⁴横浜市大,⁵名大院・生命農,⁶東大院・農生科,⁷埼玉大院・理工)</p>	<p>2aF01 環境要因が FT タンパク質輸送に及ぼす影響解析 村田裕介, 阿部光知 (東大・院総合文化)</p> <p>2aF02 B-box ファミリー GroupV は低温下で花成を抑制する 近藤祐雅¹, 久保田茜¹, 菅野茂夫², 村中智明³, 高橋望¹, 今泉貴登⁴, 遠藤求¹ (1)奈良先端科学技術大学院大学,²産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 植物機能制御研究グループ,³鹿児島大学 農学部 農林環境科学科,⁴ワシントン大学 生物学科)</p> <p>2aF03 ウキクサ植物の個体間花成誘導制御機構の解析 磯田珠奈子, 小山時隆 (京大・院理学)</p> <p>2aF04 質量分析計を用いた MRM 法によるアサガオの FT タンパク質の検出・定量 森仁志 (名大・院生命科学)</p> <p>2aF05 フロリゲンの茎頂メリステムライブライメーキングによる細胞間移行と濃度勾配形成の解析 中村珠里, 田中真理, 辻寛之 (横浜市大・原生物学研究所)</p>	<p>2aG01 ㊦ Identification of translationally regulated mRNA targets by oligouridylate-binding protein1b (UBP1b) Kentaro Nakaminami¹, Miwako Asanuma¹, Maureen Hummel², Maho Tanaka^{1,3}, Satoshi Takahashi^{1,3}, Julia Bailey-Serres², Naoshi Dohmae¹, Motoaki Seki^{1,3,4} (1)CSRS, RIKEN,²Riverside, Univ. California,³CPR, RIKEN,⁴Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ.)</p> <p>2aG02 ㊦ Ethanol Induces Heat Tolerance through Stimulation of the Endoplasmic Reticulum Stress response Daisuke Todaka¹, Akihiro Matsui¹, Maho Tanaka^{1,2}, Kayoko Mizunashi¹, Satoshi Takahashi^{1,2}, Yuji Sunaoshi^{1,3}, Yuuri Tsuboi⁴, Junko Ishida^{1,2}, Jun Kikuchi⁴, Miyako Kusano^{5,6,7}, Makoto Kobayashi⁵, Kanako Kawaura³, Motoaki Seki^{1,2,3} (1)Plant Genomic Network Res. Team, RIKEN CSRS,²Plant Epigenome Regulation Lab., RIKEN Cluster for Pioneering Res.,³Kihara Inst. Biol. Res.,⁴Enviro. Metabolic Analysis Res. Team, RIKEN CSRS,⁵Metabolomics Res. Group, RIKEN CSRS,⁶Grad. Sch. Life Enviro. Sci., Univ. Tsukuba,⁷Tsukuba Plant Innovation Res. Center, Univ. Tsukuba)</p> <p>2aG03 ヒメツリガネゴケにおける熱ショック応答を介した局所的遺伝子発現誘導に関する定量的解析 友井拓実¹, 吉田優佳², 大江駿³, 坂本丞¹, 玉田洋介^{2,3,4,5,6}, 亀井保博^{1,7,8} (1)基生研・生命熱動態,²宇都宮大・院地域創生,³宇都宮大・工,⁴宇都宮大・CORE,⁵宇都宮大・REAL,⁶基生研・生物進化,⁷基生研・光学解析,⁸総研大・生命科学)</p> <p>2aG04 ロングコイルドコイル構造を持つ小胞体膜貫通タンパク質 PICC と PICL を介した温度感受機構 松本崇社¹, 中村有沙¹, 吉富勇太², 古本強^{1,2} (1)龍谷大・院・環境生理学,²龍谷大・農学)</p> <p>2aG05 ストレス応答性転写因子 DREB2A の条件的な相互作用因子の探索と解析 船守晴帆¹, 高橋史憲^{2,3}, 城所聡¹, 亀井葉子¹, 篠崎一雄³, 篠崎和子^{1,4}, 薄井順哉¹ (1)東大院・農学生命科学,²東京理科大・先進工学,³理研・環境資源科学研究セ,⁴東京農大・農生命科学研)</p>	<p>2aH01 側根原基形成における局所的なオーキシン合成への役割 金田紗苗¹, 柿本辰男² (1)大阪大・理,²大阪大・院理)</p> <p>2aH02 ゼニゴケの分裂組織における ROS 生成酵素 MpRboh の役割 山下優音, 萩原雄樹, 橋本貴史, 橋本研究志, 朽津和幸 (東京理科大・理工・応用生物科学)</p> <p>2aH03 ゼニゴケ仮根の極性先端成長における Ca²⁺濃度の動態の定量的イメージングと分子機構の解析 池内空, 東島万里子, 阿部尚明, 橋本研究志, 朽津和幸 (東京理科大・理工・応用生物科学)</p> <p>2aH04 NBRP トマトで整備した大規模変異体プールから単離された栄養組織形態の変異体コレクション 杉本貢二, 有泉亨, 江面浩 (筑波大・T-PIRC)</p> <p>2aH05 サイトカイニン誘導性の bHLH 転写因子ファミリーによる高等植物シロイヌナズナの二次成長への関与についての研究 櫻井芳登¹, 島田由里菜¹, 上坂一馬², 山篠貴史¹ (1)名大・院生命科学,²名大・遺伝子実験施設)</p>	シンポジウム S05 Toward understanding the unique features of plant stem cells (9:00-11:40)	09:00	09:15	09:30	09:45	10:00

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月23日(水) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成	植物生物間相互作用 A	オルガネラ/細胞骨格	二次(特化)代謝
10:15	2aA06 好熱性シアノバクテリア由来フィコビリソームの中心構造 川上恵典 ¹ , 浜口祐 ¹ , 広瀬佑 ² , 小澄大輔 ³ , 宮田真人 ⁴ , 神谷信夫 ⁴ , 米倉功治 ^{1,5} (¹ 理化学研究所, ² 豊橋技術科学大学, ³ 熊本大学, ⁴ 大阪市立大学, ⁵ 東北大学)	2aB06 糖吸収は防御応答を増強させる 山田晃嗣 ¹ , 峯彰 ² (¹ 徳大院・社会産業理工, ² 京大院・農)	2aC06 Yeast two hybrid 法によるアグロバクテリウムサイトカイニン合成酵素 Tmr の相互作用因子の探索 牧野竜也(名古屋大・院生命農)	2aD06 低シユウ酸含量ホウレンソウの分子育種に向けた試み 市川翔哉 ¹ , 石橋和太 ² , 古庄律 ³ , 四井いずみ ¹ , 坂田洋一 ¹ , 太治輝昭 ¹ (¹ 東京農大・院バイオ, ² 農研機構, ³ 東京農大・食農)
10:30	2aA07 ツノケイソウ <i>Chaetoceros gracilis</i> ゲノムデータベース ChaetoBase を利用した集光性色素タンパク質 fucoxanthin chlorophyll <i>a</i> c-binding protein (FCP) の網羅的機能解析 熊沢穂 ¹ , 西出浩世 ² , 長尾遼 ³ , 井上(菓子野)名津子 ⁴ , 沈建仁 ³ , 中野雄司 ¹ , 内山郁夫 ² , 菓子野康浩 ⁴ , 伊福健太郎 ⁵ (¹ 京大院・生命, ² 基生研, ³ 岡山大・異分野研, ⁴ 兵庫県大・生命理学, ⁵ 京大院・農)	2aB07 ㊦ The Small GTPase OsRac1 forms two distinct immune receptor complexes containing the PRR OsCERK1 and the NLR Pit Akira Akamatsu ¹ , Masayuki Fujiwara ² , Satoshi Hamada ³ , Yoji Kawano ⁴ (¹ Kwansei Gakuin University, ² Yanmar Holdings Co., Ltd., ³ Nara Institute of Science and Technology, ⁴ Okayama University)	2aC07 C ₄ 種 <i>Flaveria</i> における RETICULATA-RELATED3 および RETICULATA-RELATED4 タンパク質の発現と局在解析 町野颯 ¹ , 花田裕昭 ¹ , 井上龍星 ¹ , 古本強 ² , 西村健司 ¹ , 宗景ゆり ¹ (¹ 関学大・院理工学, ² 龍谷大・農)	2aD07 接ぎ木法を用いた <i>Ocimum</i> 種のかおりの改変への挑戦 廣瀬匠悟, 坂井海斗, 日高啓吾, 福田璃央, 横井杏, 田中麻結, 森上敦, 津呂正人, 塚越啓央(名城大・農)
10:45	2aA08 液体窒素温度における光化学系 II (PSII) から PSI へのスビルオーバーの定量 寺島一郎, 小口理一, 河野優(東京大・理・植物生態)	2aB08 ㊦ Immunogenic OsPep peptides promote rice growth dependent on root microbes Masako Fujii ¹ , Yuniar Devi Utami ^{1,2} , Shigetaka Yasuda ¹ , Yuni Tajima ¹ , Takuma Ishizaki ³ , Yuichi Hongoh ² , Yutaka Sato ⁴ , Yusuke Saijo ¹ (¹ Grad. Sch. Sci. and Tech., NAIST, ² Grad. Sch. Biosci. Biotech., Tokyo Institute of Tech., ³ JIRCAS, ⁴ NIIG)	2aC08 C ₄ 種 <i>Flaveria bidentis</i> における維管束鞘細胞葉緑体に局在する RETICULATA-RELATED 3 の相互作用因子の探索 井上龍星 ¹ , 花田裕昭 ¹ , 町野颯 ¹ , 中川れい子 ² , 古本強 ³ , 西村健司 ¹ , 宗景ゆり ¹ (¹ 関学大・院理工学, ² 理研BDR, ³ 龍谷大・農)	2aD08 カンブトテンシ生合成に関与する遺伝子クラスター内に存在するトランスポーター遺伝子の機能 二反田望実, ライアミット, 齊藤和季, 山崎真巳(千葉大・院薬学)
11:00	2aA09 2つの光受容体によって制御される <i>Pleurocapsa</i> sp. PCC 7319 の補色順化の解析 大津卓人, 浴俊彦, 広瀬佑(豊橋技科大・院工)	2aB09 イネ NB-LRR 型受容体 Xa1 に依存した白葉枯病抵抗性を活性化する 2つの免疫誘導系 吉久采花 ¹ , 吉村智美 ¹ , 清水元樹 ² , 山口公志 ¹ , 川崎努 ¹ (¹ 近畿大・院農学, ² 岩手生工研)	2aC09 プラスチドシグナルによる核遺伝子発現の多様な制御 猪瀬碧 ¹ , 平安山昌史 ¹ , 船城桐子 ¹ , 華岡光正 ^{1,2} (¹ 千葉大・院園芸・応用生命, ² 千葉大・植物分子科学研究セ)	
11:15	2aA10 海洋性シアノバクテリア <i>Acaryochloris marina</i> におけるクロロフィル <i>d</i> 生合成の光および酸素依存性の解析 都築侑季 ¹ , 塚谷祐介 ² , 山川壽伯 ¹ , 伊藤繁 ³ , 藤田祐一 ¹ , 山本治樹 ¹ (¹ 名大院・生命農, ² 海洋研究開発機構, ³ 名大院・理)	2aB10 ㊦ Root-specific <i>CLE3</i> expression is required for <i>WRKY33</i> activation in Arabidopsis shoots Dichao Ma ^{1,2} , Satoshi Endo ^{1,3} , Eriko Betsuyaku ⁴ , Toru Fujiwara ² , Shigeyuki Betsuyaku ⁴ , Hiroo Fukuda ^{1,5} (¹ Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ² Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Toky., ³ Inst. Interdiscip. Res., KUAS, ⁴ Fac. Agr., Ryukoku Univ., ⁵ Fac. Bioenvir. Sci., KUAS)	2aC10 緑藻クラミドモナス cpSRP は cpSRP43 と cpSRP54 から構成され, ALB3.1 を介してチラコイド膜に結合する 黒田洋詩 ¹ , 小澤真一郎 ² , 濱尾志乃 ¹ , 高橋裕一郎 ¹ (¹ 岡山大・基礎研, ² 岡山大・植物研)	
11:30				
11:45				

E会場	F会場	G会場	H会場	Y会場	Z会場	時間
植物ホルモン/ シグナル伝達物質	花成/時計	環境応答 C	栄養成長			
<p>2aE06 植物病原菌 <i>Rhodococcus fascians</i> が作り出す新奇サイトカイニンの構造と機能の解明 吉野実花¹, Alicia Surjana¹, 小嶋美紀子², 幸木謙典¹, 西川俊夫¹, 榎原均^{1,2} (1名大院・生命農, 2理研 CSRS)</p>	<p>2aF06 フロリゲンとサイトカイニン, オーキシン情報伝達の1細胞解像度3Dイメージングで明らかにするイネの成長相転換 佐藤萌子¹, 坂本勇貴², 田中真理¹, 井藤純¹, 田岡健一郎¹, 三上雅史³, 遠藤真咲³, 北野英己⁴, 松永幸夫⁵, 辻寛之¹ (1横浜市大・木原生物学研究所, 2大阪大・院理・生物科学, 3農研機構・生物研, 4名古屋大・生物機能開発利用研究センター, 5東京大・院・新領域)</p>	<p>2aG06 シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>sloh3</i> の単離解析 遠藤直弘, 月本亮, 磯野一帆, 四井いずみ, 坂田洋一, 太治輝昭 (東京農大・バイオ)</p>	<p>2aH06 シロイヌナズナ sORF, <i>SORF03</i> は全身的な窒素シグナルに応じて発現し側根形成を抑制する 伊藤和洋¹, 久永優希¹, 河野咲菜¹, 馬淵敦士¹, 花田耕介², 射場厚¹, 楠見健介¹ (1九州大・院・理, 2九工大・生命情報工学)</p>	シンポジウム S05 Toward understanding the unique features of plant stem cells (9:00-11:40)		10:15
<p>2aE07 FAS 遺伝子群が作り出す新奇サイトカイニンに関する研究 宮田和輝¹, Alicia Surjana¹, 小嶋美紀子², 幸木謙典¹, 西川俊夫¹, 榎原均^{1,2} (1名大院・生命農, 2理研 CSRS)</p>	<p>2aF07 フロリゲン活性化複合体の精製 舟山枝里¹, 田岡健一郎¹, 深尾陽一朗², 辻寛之¹ (1横浜市大・木原生物学研究所, 2立命館大・生命科学部)</p>	<p>2aG07 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 の二成分制御系 Hik2-Rre1 シグナルは高温およびプラストキノン還元条件下で活性化される Nachiketa Bairagi^{1,2}, 渡辺智³, 荷村・松根かおり³, 田中謙也^{4,5}, 鶴巻達夫^{1,2}, 中西周次⁵, 田中寛¹ (1東工大・研究院・化生研, 2東工大・生命理工学院, 3東京農大・生命科学・バイオ, 4神戸大・先端バイオ工研セ, 5阪大・院基礎工)</p>	<p>2aH07 ㊦ Auxin response of exaggerated root cut response in <i>aux/iaa3/shy2-101</i> dominant mutant Feiyang Lin¹, Kang Xu¹, Yota Fujise², Ken-ichiro Hayashi³, Takehide Kato⁴, Miyo T. Morita⁵, Hidehiro Fukaki⁶, Masaaki K. Watahiki^{1,2} (1Grad. Sch. Life Sci., Univ. Hokkaido Univ., 2Fac. Sci., Hokkaido Univ., 3Dep. Biochem., Okayama Univ. Sci., 4Div. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci. and Tech., NAIST, 5NIBB, 6Grad. Sch. of Sci., Kobe Univ.)</p>			10:30
<p>2aE08 イネにおける非典型的なストロマトン生合成酵素の機能解析 増口遼^{1,2}, 小林峻大¹, 北岡直樹^{2,3}, 谷口浩規⁴, 橋田文徳², 徳永浩樹^{2,5}, 経塚淳子², 秋山康紀⁴, 山口信次郎^{1,2} (1京大・化研, 2東北大院・生命科学, 3北大・院・農, 4大阪府大院・生命環境, 5理研・CSRS)</p>		<p>2aG08 高温・強光ストレス環境下におけるカタバミ赤色葉変種の生存戦略 三須隼太^{1,2}, 寺島一郎^{1,2}, 深野祐也³, 矢守航³ (1植物生態学研究室, 2東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, 3東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構)</p>	<p>2aH08 ゼニゴケ無性芽における MpHYPNOS を介した休眠制御 芳村那美¹, 吉川実穂子¹, 安田有沙², 加藤大貴¹, 酒井友希¹, 三村徹郎^{1,3,4}, 近藤侑貴¹, 深城英弘¹, 石崎公庸¹ (1神戸大・院・理, 2神戸大・理, 3東大・院・農学生命科学, 4国立成功大・生科・科技)</p>			10:45
<p>2aE09 イネ種子発芽を温度に応じて制御する転写調節モジュールの解析 吉田英樹^{1,2}, 平野恒², 矢野憲司^{2,3}, Fanmiao Wang², 森政樹², 川村真結子², 藤瀬永里子², 服部将子², Reynante Ordonio², Peng Huang², 松岡信^{1,2} (1福島大・発酵研, 2名古屋大・生物機能研究センター, 3理研・革新知能センター)</p>		<p>2aG09 人工気象器を用いた恒温および変温環境下における雌雄異株ホウレンソウの雌雄別の抽苔特性 米田有希, 川嶋浩樹 (農研機構・西農研)</p>	<p>2aH09 <i>figu5</i> の初期発生に生じる代謝リプログラミングの解析と補償的細胞肥大を促進する鍵代謝産物の同定 多部田弘光^{1,2,3}, 佐藤心朗², 郡司玄¹, 塚谷裕一⁴, 平井優美², フェルジャーニアリ¹ (1学芸大・院・教育, 2理研 CSRS, 3東大・院・総合文化, 4東大・院・理学)</p>			11:00
<p>2aE10 一次代謝物リノゴ酸が誘導する気孔閉口の分子機構の解析 三俣好金, 宗正晋太郎, 中村俊之, 中村宜督, 村田芳行 (岡山大院・環境生命)</p>		<p>2aG10 シロイヌナズナ Wt-1 における塩馴化後浸透圧耐性欠損因子の解析 平野貴大¹, 有賀裕嗣², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2農研機構・遺伝資源)</p>	<p>2aH10 <i>hope-1</i> 変異体の胚軸における遺伝学およびオミクス解析を駆使した分化維持機構の解明 白鳥みづき^{1,2}, 高橋和希², 多部田弘光^{1,2,3}, 古賀皓之⁴, 郡司玄², 佐藤心朗³, 堀口吾朗^{5,6}, 平井優美³, 塚谷裕一⁴, フェルジャーニアリ² (1東大・院・総合文化, 2学芸大・教育・生命, 3理研・CSRS, 4東大・院・理, 5立教大・理・生命, 6立教大・理・生命理学センター)</p>			11:15
		<p>2aG11 シトクロム P450 タンパク質は塩馴化後浸透圧耐性を向上させる 梶野拓磨¹, 山口将弘¹, 成島純平², 矢口行雄³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2医食衛研・生化学, 3東京農大・農生研)</p>	<p>2aH11 ゼニゴケをモデルとした植物の成長への低温プラズマ照射の効果の検証と分子機構の解明 坪山祥子¹, 奥村賢直², 古閑一憲^{2,3}, 白谷正浩², 朽津和幸¹ (1東京理科大・理工・応用生物学, 2九大・シス情, 3自然科学研究機構)</p>			11:30
			<p>2aH12 シロイヌナズナ木部道管細胞の分化に伴う力学的強度変化の解析 國枝正^{1,2}, 川村純平¹, 別所歩武¹, 岸田佳祐¹, 細川陽一郎^{2,3}, 出村拓^{1,2} (1奈良先端大・バイオ, 2奈良先端大・CDG, 3奈良先端大・物質)</p>	11:45		

㊦ = 発表の言語は英語


● 第2日 3月23日(水) 午後(13:15-16:15)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成	システム生物学	オルガネラ/細胞骨格	二次(特化)代謝
13:15	<p>2pA01 光合成細菌 <i>Rhodobacter capsulatus</i> における機能未知ニトロゲナーゼ類似型酵素の機能解析 守本好希¹, 上坂一馬², 藤田祐一¹, 山本治樹¹ (¹名大院・生命農, ²名古屋大学遺伝子実験施設)</p>	<p>2pB01 シロイヌナズナの開花時間を制御するミトコンドリア由来の新遺伝子 武田智之¹, 白井一正¹, 金有王¹, 樋口(竹内)美栄子², 清水みなみ², 近藤隆之¹, 牛高智一³, 松下智直⁴, 篠崎一雄², 花田耕介¹(九州工業大学情報工学部生命情報工学科, ²理化学研究所環境資源科学研究センター, ³摂南大学農学部農業生産学科, ⁴京都大学理学研究科植物分子生理学研究室)</p>	<p>2pC01 異なる光条件下で生育したシロイヌナズナにおける葉緑体光定位運動の解析 増田彩¹, 坂本勇貴¹, 檜垣匠², 富永基樹³, 高木慎吾¹(¹大阪大・院理学, ²熊本大・院・先端科学, ³早稲田大・教育総合科学・生物, ⁴早稲田大・院・先進理工)</p>	<p>2pD01 クラスターを形成するシロイヌナズナ CYP71Bs は遊離インドール関連化合物を代謝する 内田開, 平井優美(理研CSRS)</p>
13:30	<p>2pA02 シアノバクテリア <i>Leptolyngbya boryana</i> の <i>rsbU</i> 欠損がもたらす暗所従属栄養生育の向上と光合成独立栄養生育の低下 西尾万梨恵, 肥田真太郎, 高谷信之, 山本治樹, 藤田祐一(名大院・生命農)</p>	<p>2pB02 比較ゲノム・トランスクリプトーム解析による高温登熟耐性遺伝子の同定 圓山恭之進¹, 坂井寛幸², 小林麻子³, 櫻井哲也⁴, 水上優子⁶, 濱頭爽⁵, 森賢一郎⁶(¹国際農研, ²農研機構, ³福井農試, ⁴高知大・総合科学系, ⁵海部農林水産事務所, ⁶愛知農総試)</p>	<p>2pC02 シロイヌナズナにおけるエチオプラスト発達時の色素体酸性脂質の役割 吉原晶子¹, 和田元², 永田典子³, 小林康一⁴ (¹大阪府大・院理学, ²東大・院総合文化, ³日本女子大・理学, ⁴大阪府大・院理学)</p>	<p>2pD02 ゴマ培養細胞を用いたフェニルエタノイド配糖体生成におけるアシル化転移酵素遺伝子の単離と解析 藤佑志郎^{1,4}, 松藤寛², 明石智義³, 平井優美⁴ (¹日本大学 生物資源科学部, ²日本大学 生物資源科学部 食品生命学科, ³日本大学 生物資源科学部 応用生物科学科, ⁴理化学研究所 環境資源科学研究センター)</p>
13:45	<p>2pA03 トランスボソングによるシアノバクテリア <i>Leptolyngbya boryana</i> の光合成依存的な窒素固定生育に関わる遺伝子群の探索 馬場真里¹, 上坂一馬², 戸松千映¹, 山本治樹¹, 井原邦夫², 藤田祐一¹(¹名大院・生命農, ²名大・遺伝子実験施設)</p>	<p>2pB03 理研植物メタボロームメタデータベースの開発 福島敦史^{1,2}, 高橋みき子¹, 長崎英樹^{1,3}, 青野佑亮⁴, 小林誠¹, 草野都^{1,4}, 齊藤和季¹, 小林紀郎¹, 有田正規^{1,5}(¹理研CSRS, ²京都府立大院・生命環境, ³かずさDNA研究所, ⁴筑波大・生命環境系, ⁵遺伝研DDBJセンター)</p>	<p>2pC03 縮短応答因子 ppGpp が引き起こす代謝変化は窒素欠乏下での植物バイオマス増加に寄与する 後藤美奈¹, 及川彰², 増田真二¹(¹東工大・生命理工, ²京大・院農学)</p>	<p>2pD03 ゴマ cytochrome P450 酵素遺伝子を形質転換したレンギョウは有用リグナンを生産する 小山知嗣¹, 松本えりか¹, 奥田利美¹, 村田純¹, 堀川学¹, 畑直樹², 岡澤敦司³, 小基栄一郎⁴, 佐竹炎¹(¹公財)サントリー生命科学財団, ²滋賀県大・環境科学, ³大阪府大院・生命環境, ⁴サントリーグローバルバイオレーションセンター(株))</p>
14:00	<p>2pA04 シアノバクテリア <i>Leptolyngbya boryana</i> におけるクロロフィル生成中間体プロトクロロフィルの細胞外小胞を介した分泌機構 白井健太郎, 山本治樹, 大井崇生, 谷口光隆, 森仁志, 藤田祐一(名古屋大・院生命農学)</p>	<p>2pB04 ㊦ Gene-to-gene Spearman correlation using the sample principal component scores is a simple sample-balancing methodology for gene coexpression calculation Takeshi Obayashi¹, Yuichi Aoki²(¹Grad. Sch. Info. Sci., Tohoku Univ., ²ToMMo, Tohoku Univ.)</p>	<p>2pC04 ブラシノステロイド新規シグナル伝達因子BPG4による葉緑体発達の抑制的制御機構の解明 立花諒¹, 丸上萌々², 阿部晋², 山上あゆみ¹, 野崎翔平³, 宮川拓也⁴, 稲葉丈人⁵, 松井南⁶, 久城哲夫², 浅見忠男⁴, 伊福健太郎⁷, 中野雄司¹(¹京大・院生命科学, ²明治大・農, ³筑波大・院生命環境, ⁴東大・院農学生命, ⁵宮崎大・農, ⁶理研・CSRS, ⁷京大・院農)</p>	<p>2pD04 植物根からのサボニン類の分泌と根圏微生物叢の形成 中安大¹, 山崎真一², 青木裕一², 矢崎一史¹, 杉山曉史¹(¹京都大学生体園研究所, ²東北大学東北メディカル・メガバンク機構)</p>
14:15	<p>2pA05 <i>Synechocystis</i> sp. PCC6803 は低温感受性の(Z)7-ヘキサデセン酸からオレイン酸への伸長機構を持つ 小林明日香¹, Nattiwong Pankasem², 小林孝太郎³, Florence Corellou⁴, 鈴木石根⁵(¹筑波大・生命環境, ²カリフォルニア大・生物, ³筑波大・生命環境科学, ⁴ボルドー大・膜生物学研究室, ⁵筑波大・生命環境系)</p>	<p>2pB05 ゲノムデータベースからシロイヌナズナ ASYMMETRIC LEAVES2 (AS2) の起源を探る 岩川秀和^{1,2}, 小島晶子², 笹部美知子³, 松本省吾¹, 町田泰則⁴, 町田千代子²(¹名大・院・生命農学, ²中部大・応用生物, ³弘前大・農学生命科学部, ⁴名大・院・理)</p>	<p>2pC05 クラミドモナスの穴あき葉緑体と培養条件下による変化 豊岡公徳¹(¹東京大学・総合文化研究科, ²理研CSRS)</p>	<p>2pD05 畑作コマツナ栽培土壌に含まれるアブラノ科特有揮発成分の探索 佐野瑞希¹, 青野佑亮¹, 佐藤研⁵, 今井裕恵⁶, 大津歳生², 二瓶直登⁷, 市橋泰範⁵, 草野都^{2,3,4} (¹筑波大学理工情報生命科学地球科学研究所, ²筑波大学生命環境系, ³筑波大学T-PIRC, ⁴理化学研究所CSRS, ⁵理化学研究所BRC, ⁶テラーメードQOLプログラム開発センター, ⁷福島大学食農学類)</p>
14:30		<p>2pB06 ライフコースデータを用いたデータ科学に基づく形質予測モデル構築 平山隆志¹, 最相大輔¹, 井藤純², 服部公央亮³, 岡田聡史¹, 池田陽子¹, 梅崎大造³, 辻寛之², 持田恵一⁴(¹岡山大・植物研, ²横浜市大・水原研, ³理研・環境資源セ, ⁴中部大・工)</p>	<p>2pC06 シロイヌナズナのミトコンドリアゲノム標的塩基置換技術を用いた RNA 編集解析の試み 中里二星¹, 周暢¹, 田村美子¹, 増田麗子¹, 堤持浩¹, 竹中瑞樹², 有村慎一¹(¹東大院・農生, ²京大院・理)</p>	

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間
植物ホルモン/ シグナル伝達物質	花成/時計	環境応答 C	栄養成長			
<p>2pE01 ブラシノステロイドは根端切除後の幹細胞ニッチの再構築を促進する高橋直紀, 梅田正明(奈良先端大・先端科学)</p>	<p>2pF01 シロイヌナズナの概日時計中心振動体 PRR7 のレシーバー様ドメインの機能解析 寺前智瑛, 市古幹洋, 山篠貴史(名大院・生命農)</p>	<p>2pG01 耐寒性植物器官の凍結様式の多様性解析手段としての温度可変 MRI 石川雅也¹, T. Stait-Gardner², 久保光¹, 松下範久¹, 福田健二¹, W.S. Price²(¹東大・院農学生命, ²Western Sydney Univ.)</p>	<p>2pH01 維管束幹細胞の運命制御におけるサイトカインの機能解析 島津舜治^{1,2}, Alif Meem Nurani¹, 山田一貴³, 柴田恭美³, 古谷朋之², 伊藤(大橋)恭子¹, 石崎公庸², 深城英弘², 朝比奈雅志^{3,4}, 福田裕徳⁵, 近藤侑貴²(¹東大・院・理, ²神戸大・院・理, ³帝京大・理工・バイオ, ⁴帝京大・先端機器分析センター, ⁵京都先端科学大・バイオ環境)</p>	シンポジウム S O 6 寄生・共生・防御・感染を制御する化学シグナル (13:15-16:15)	シンポジウム S O 7 見たい, 知りたい, 操作したい, 植物と微生物の超個体 (13:15-16:15)	13:15
<p>2pE02 ㊦ Involvement of phytoene desaturase activity and auxin signaling for root-cut response in <i>Arabidopsis thaliana</i> Kang Xu¹, Emi Yumoto², Masashi Asahina², Ken-ichiro Hayashi³, Takehide Kato⁴, Miyo T. Morita⁵, Hidehiro Fukaki⁶, Masaaki K. Watahiki^{1,7}(¹Grad. Sch. Life., Univ. Hokkaido, ²Dept. Biosci., Univ. Teikyo, ³Dept. Biochem., Univ. Okayama of Science, ⁴Div. Bio. Sci., Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST, ⁵NIBB, ⁶Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, ⁷Div. BioSci., Fac. Sci., Univ. Hokkaido)</p>	<p>2pF02 シロイヌナズナ葉を用いた低温における概日リズムの維持機構の解明に向けて 中村駿志, 小山時隆(京大・院理学)</p>	<p>2pG02 シロイヌナズナの低温応答におけるオートファジーの役割 佐藤秋夫, 三原良太, 稲葉靖子, 稲葉丈人(宮崎大学・農)</p>	<p>2pH02 概日時計関連遺伝子 GI の維管束幹細胞分化における機能の探索 荒野巧勝¹, 内村達¹, 福田裕徳³, 近藤侑貴²(¹東大・院・理, ²神戸大・院・理, ³京都先端科学大・バイオ環境)</p>			13:30
<p>2pE03 GH3 アミノ酸複合体合成酵素は細胞内 IAA 濃度の恒常性を制御する 福井康祐¹, 新井一司¹, 赤嶺孝太¹, 青井勇輝², 笠原博幸^{3,4}, 林謙一郎¹(¹岡山理大・理, ²東京農工大・院・連合農, ³東京農工大・院・GIR, ⁴理研・CSRS)</p>	<p>2pF03 3つの日長条件における短日性アオウキキサの日周トランスクリプトーム 村中智明(鹿児島大・農)</p>	<p>2pG03 細胞壁プロテオグリカン FLA8 は低温馴化および凍結耐性に関与する 柴崎由季乃¹, Kim Johnson², Antony Bacic², 小竹敬久¹, 高橋大輔¹(¹埼玉大・院・理工, ²La Trobe Inst. Food Agr., La Trobe Univ.)</p>	<p>2pH03 内生オーキシン量を増加させる <i>isp1/sur2</i> 変異が <i>fiar/gnom</i> 変異体の側根形成を回復させる 後藤千恵子¹, 池上聡¹, 郷達明^{1,2}, 笠原博幸^{3,4}, 近藤侑貴¹, 石崎公庸¹, 三村徹郎^{1,5,6}, 深城英弘¹(¹神戸大・院・理, ²奈良先端大・バイオサイエンス, ³農工大・院・農, ⁴理研・CSRS, ⁵東大・院・農学生命科学, ⁶国立成功大, 生科・科技)</p>			13:45
<p>2pE04 <i>A. thaliana</i> の JA-SA 間相互作用のトランスクリプトーム地形から明らかになった濃度依存的な応答 富田敦睦^{1,2}, 前田太郎^{2,3}, 森山奈津美⁴, 野村康之³, 栗田悠子³, 鹿島誠⁴, 富田勝^{1,2}, 別役重之⁵, 永野博^{2,3,5}(¹慶應大・環境情報, ²慶應大・IAB, ³龍谷大・食農研, ⁴青山学院大・理工, ⁵龍谷大・農)</p>	<p>2pF04 時計長周期化合物と標的タンパクの結合モデル 前田明里², 松尾宏美¹, 藤本和宏^{2,3}, 木下俊則^{2,3}, 山口潤一郎⁴, 中道範人¹(¹名古屋大学院生命農学研究所, ²名古屋大学院生命農学研究所, ³名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, ⁴早稲田大学理工学術院)</p>	<p>2pG04 シロイヌナズナの概日時計関連転写因子群を介した低温ストレス誘導性遺伝子発現制御の解析 城所隆¹, 神浦泉¹, 林健太郎¹, 相馬史幸¹, 鈴木孝征², 篠崎一雄³, 篠崎和子^{1,4}(¹東大院・農学生命科学, ²中部大学・応用生物・理研・環境資源科学研究セ, ³東京農大・農生命科学研)</p>	<p>2pH04 側根形成におけるシクロム <i>b₂</i> 様ヘム結合タンパク質 RLF の機能解析 岩田健太郎¹, 後藤千恵子¹, 丸山海成², 福村日向丸¹, 近藤侑貴¹, 石崎公庸¹, 笠原博幸^{3,4}, 深城英弘¹(¹神戸大・院・理, ²東京農工大・農, ³東京農工大・院・農, ⁴理研・CSRS)</p>			14:00
<p>2pE05 シロイヌナズナにジャスモン酸・サリチル酸双方の蓄積を誘導する新規化合物の作用機構の解析 松本史織¹, 並木健太郎¹, 遠矢龍平¹, 菊地宏樹¹, 前田健太郎¹, 西田えり佳¹, 北畑信隆^{1,2}, 齊藤優歩¹, 中野正貴¹, 舟橋汰樹¹, 中澤裕¹, 橋本研志¹, 倉持幸司¹, 安部洋³, 高橋史憲^{3,4}, 浅見忠男², 木村成介⁵, 朽津和幸¹(¹東京理科大・理工・応用生物科学, ²京大・農学生命科学, ³理研, ⁴東京理科大・先進工, ⁵京都産業大学・総合生命科学)</p>	<p>2pF05 植物概日時計の温度補償性に関わるタンパク質の量的制御メカニズムの解析 前田明里¹, 松尾宏美², 木下俊則^{1,3}, 中道範人²(¹名古屋大・院理, ²名古屋大・院生命農学, ³名古屋大・ITbM)</p>	<p>2pG05 【演題取り下げ】</p>	<p>2pH05 トレンアの直接シュート再生初期過程のトランスクリプトーム解析 森中初音¹, 間宮章仁², 玉置裕章³, 鈴木孝征⁴, 池内桃子^{1,5}, 岩瀬賢¹, 東山哲也^{3,6}, 杉本慶子¹, 杉山宗隆³(¹理研・CSRS, ²神戸大・院・理・生物, ³東京大・院・理・生物科学, ⁴中部大・応用生物・応用生物化学, ⁵新潟大・理, ⁶名古屋大・ITbM)</p>			14:15
<p>2pE06 ブラシノステロイド新規シグナル伝達活性化因子 BIL7 タンパク質のリン酸化における修飾部位の探索と分子機能の解析 仲村友介¹, 宮地朋子², 山上あゆみ¹, 野澤彰³, 澤崎達也³, 鈴木健裕³, 堂前直², 宮川拓也⁴, 松井南², 藤岡昭三², 浅見忠男⁴, 中野雄司¹(¹京大院・生命, ²理研・CSRS, ³愛媛大・PROS, ⁴東大院・農生科)</p>	<p>2pF06 シアノバクテリアの概日時計再構成系における pH の効果 伊藤三輪久美子^{1,2}, 尾上靖宏³, 近藤孝男¹, 寺内一輝³(¹名古屋大・院理, ²名古屋大・高等研究院, ³立命館大・生命科学)</p>	<p>2pG06 ㊦ Mechanical properties of Arabidopsis thaliana roots Marcel Pascal Beier¹, Yunshu Wang², Kyoko Miwa⁴, Shumpei Hayashi³, Hirota Hida³, Toru Fujiwara²(¹Faculty of Science/ Institute for the Advancement of Higher Education, Hokkaido University, ²Department of Applied Biological Chemistry, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, ³Department of Mechanical Engineering, Graduate school of Kobe university, ⁴Division of Biosphere Science, Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University)</p>	<p>2pH06 ㊦ A possible function of WIND1 transcription factor as an epigenetic regulator Akira Iwase^{1,2}, Arika Takebayashi¹, Ayako Kawamura¹, Takamasa Suzuki³, Keiko Sugimoto¹(¹RIKEN CSRS, ²JST PRESTO, ³Col. Biosci. Biotech., Chubu Univ.)</p>			14:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月23日(水) 午後(13:15-16:15)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	システム生物学	オルガネラ/細胞骨格	二次(特化)代謝
14:45		<p>2pB07 形質予測モデル構築にむけた茎頂メリステムの連続的な発生ステート推移の解明 井藤純¹, 野村有子¹, 高萩航太郎², 岡田聡史³, 久下修平¹, 佐藤奈緒¹, 新井駿一¹, 松本大輝¹, 杉村みどり¹, 関緑¹, 服部公央亮⁴, 梅崎太造⁴, 池田陽子³, 最相大輔³, 持田恵一², 平山隆志³, 辻寛之¹ (1)横浜市大・木原生研, (2)理研・CSRS, (3)岡山大・植物研, (4)中部大・工)</p>	<p>2pC07 二次細胞壁パターンへのねじれを抑制する細胞骨格因子の同定 佐々木武馬^{1,2}, 山田萌恵³, 貴嶋紗久¹, 比嘉毅¹, 佐藤蘭子⁴, 若崎真由美⁴, 豊岡公德⁴, 近藤洋平⁵, 梶元佐^{5,6}, 大友康平^{5,6,7}, 村田隆⁸, 根本知己^{5,6,9,10}, 小田祥久^{1,2} (1)遺伝研・遺伝形質, (2)総研大・遺伝学, (3)名大院・理, (4)理研・CSRS, (5)生命創成探究センター, (6)生理研, (7)順天堂大院・医, (8)神奈川工科大・応用バイオ, (9)総研大・生理科学, (10)北大・電子研)</p>	
15:00		<p>2pB08 ディープフェノタイピングによるオオムギの成長トラジェクトリの多様性の解明 持田恵一^{1,3,5}, 金俊植¹, 高萩航太郎^{1,3}, 金谷麻加¹, 井上小楨¹, 上原由紀子¹, 清水みなみ¹, 最相大輔², 井藤純³, 服部公央亮⁴, 岡田聡史², 池田陽子², 梅崎太造⁴, 辻寛之³, 平山隆志² (1)理研・環境資源科学研究センター, (2)岡山大・資源植物科学研究所, (3)横浜市大・木原生物学研究所, (4)中部大・工学部, (5)長崎大学・情報データ科学部)</p>	<p>2pC08 微小管付随タンパク質 CORD はゼニゴケにおいて細胞分裂面の決定に関与する 佐々木武馬^{1,2}, 石崎公庸³, 本瀬宏康⁴, 小田祥久^{1,2} (1)遺伝研・遺伝形質, (2)総研大・遺伝学, (3)神戸大・院・理, (4)岡山大・院・自然科学)</p>	
15:15		<p>2pB09 組織破砕液からの直接逆転写 Targeted RNA-Seq (DeLTa-Seq) を用いた JA/SA 応答の温度依存性の解析 鹿島誠¹, 森山奈津美², 野村康之², 別役重之³, 水野淳^{3,4} (1)青山学院大・理工, (2)龍谷大・食農研, (3)龍谷大・農, (4)慶應大・IAB)</p>		
15:30		<p>2pB10  Multi-omics analysis highlighted important factors for parthenocarpy for tomato fruits during early fruit set Kanjana Worarad¹, Miyako Kusano^{1,2,3}, Atsushi Fukushima^{3,5}, Ken Kamiya¹, Yozo Okazaki^{3,4}, Yasuhino Higashi³, Ryo Nakabayashi³, Makoto Kobayashi³, Yuka Mitani³, Tetsuya Mori³, Tomoko Nishizawa³, Kazuki Saito³, Shuhei Hao¹, Yoshihito Shinozaki¹, Tohru Ariizumi^{1,2}, Hiroshi Ezura^{1,2} (1)Graduate School of Life and Environmental Science, Tsukuba-Plant Innovation Research Center (T-PIRC), University of Tsukuba, (2)Tsukuba Plant Innovation Research Center, University of Tsukuba, (3)RIKEN Center for Sustainable Resource Science, (4)Graduate School and Faculty of Bioresources, Mie University, (5)Graduate School of Life and Environmental Sciences, Kyoto Prefectural University)</p>		
15:45				
16:00				

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間
植物ホルモン/ シグナル伝達物質	花成/時計	環境応答 C	栄養成長			
<p>2pE07 イネ穀粒サイズを抑制する TGW6 の立体構造解析 赤羽根健生¹, 鈴木喜大², 土屋渉², 吉澤拓也³, 松村浩由³, 加藤悦子², 廣津直樹¹ (1東洋大・生命科学研究所, ²農研機構・高度分析研究センター, ³立命館大・生命科学部)</p> <p>2pE08 分泌ペプチド AT32 はブラシノステロイド受容体を介しブラシノステロイドシグナルを抑制する 近藤隆之¹, 武田智之¹, 大林祝¹, 金有王¹, 岡本昌憲², 児玉豊², 吉積毅³, 原口武士⁴, 樋口美栄子³, 清水みなみ³, 野元美佳⁵, 多田安臣³, 軸丸裕介⁶, 神谷勇治³, 篠崎一雄³, 桑田啓子⁷, 大石俊輔⁷, 平順一¹, 坂本寛¹, 日下部宜宏⁸, 李在萬⁸, 花田耕介^{1,3} (1九州工大・情報工, ²宇都宮大・バイオ, ³理研・CSRS, ⁴千葉大・院理, ⁵名古屋大・遺伝子実験施設, ⁶アジレント・テクノロジー株式会社, ⁷名古屋大・ITbM, ⁸九大・院農)</p> <p>2pE09 植物プロゲステロン受容体候補 <i>AmPRI</i> の植物成長及び環境ストレス耐性における分子機能の解析 大坊りら¹, 山上あゆみ¹, 上林綾加^{2,3}, 嶋田勢津子², 飯野真由美², 岡本真由美⁴, 小林瞬⁴, 松井昭憲⁴, 清水功雄⁴, 寛雄介⁵, 嶋田幸久⁵, 作田正明³, 浅見忠男⁶, 横田孝雄⁷, 中野雄司¹ (1京大院・生命科学, ²理研・CSRS, ³お茶大院・創成科学, ⁴早大院・理工, ⁵横浜市大・木原生研, ⁶東大院・農学生命, ⁷帝京大・バイオ)</p> <p>2pE10 ㊦ Molecular Mechanisms of Host Tropism in Orobanchaceae Parasitic Plants Satoshi Ogawa¹, Songkui Cui², Satoko Yoshida^{2,3}, Ken Shirasu^{1,4} (1CSRS, RIKEN, ²Grad. Sch. of Sci. Tech., NAIIST, ³JST, PRESTO, ⁴Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo)</p> <p>2pE11 シロイヌナズナ ANAC-DOF 転写因子が制御する異所的な維管束細胞分化の解析 佐藤良介¹, 松岡啓太¹, 柴田恭美¹, 近藤侑貴², 佐藤忍³, 朝比奈雅志^{1,4} (1帝京大・理工・バイオ, ²神戸大・院・理, ³筑波大・生命環境, ⁴帝京大・先端機器分析セ)</p> <p>2pE12 オーキシンによる細胞周期制御における 3R 型 MYB 転写因子の役割の解析 嵐谷雅, Ye Zhang, 高橋直紀, 梅田正明 (奈良先端大・先端科学)</p>		<p>2pG07 シロイヌナズナのリン欠乏時の膜脂質転換における non-specific phospholipase C5 の機能解析 渡邊帆南¹, 井原雄太¹, 吉竹悠志², 太田啓之¹, 下嶋美恵¹ (1東京工業大学 生命理工学院, ²明治大・農・生命科学)</p> <p>2pG08 小胞体ストレス誘導性のオートファジーは早期リン酸欠乏下でのリン酸再供給に関与する 吉竹悠志¹, 篠崎大樹², 吉本光希^{1,2} (1明大・農・生命, ²明大・院・農)</p> <p>2pG09 ㊦ An environmental response on root hairs under phosphate starvation in Arabidopsis Michitaro Shibata¹, Ayako Kawamura¹, Keiko Sugimoto^{1,2} (1RIKEN CSRS, ²Dep. Biol. Sci., Univ. Tokyo)</p> <p>2pG10 ㊦ Involvement of mechanosensitive channels of a stem parasitic plant, <i>Cuscuta campestris</i>, in the initiation of pre-haustorium Jihwan Park, Koh Aoki (Grad. Sch. Life Environ. Sci., Osaka Pref. Univ)</p>	<p>2pH07 ㊦ Photomorphogenic regulators PIF3 and HY5 antagonistically modulate plant regeneration in response to light signals Yu Chen^{1,2}, David Favero², Ayako Kawamura², Keiko Sugimoto^{1,2} (1Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ²CSRS, RIKEN)</p> <p>2pH08 苔類ゼニゴケの杯状体形成における single-MYB 遺伝子 <i>GROM</i> の機能解析 加藤大貴¹, 安居佑季子^{1,2}, 近藤侑貴¹, 深城英弘¹, 三村徹郎^{1,3,4}, 石崎公庸¹ (1神戸大・院・理, ²京大・院・生命, ³東大・院・農学生命科学, ⁴国立成功大・生科・科技)</p> <p>2pH09 受容体様キナーゼの極性スイッチ機構 吉成晃¹, 磯田玲華¹, 桑田啓子¹, フロマー ウォルフ^{1,2,3}, 中村匡良¹ (1名古屋大・トランスフォーメティブ生命分子研究所, ²デュッセルドルフ大学, ³マックス・プランク研究所)</p> <p>2pH10 発達中の側根とそれを取り囲む細胞群の変化を同調させる転写ネットワーク 間瀬皓介¹, 水野帆乃美¹, 富田幸希¹, 中村圭吾¹, 古川七梨¹, 上野志歩¹, 鈴木孝征², 森上敦¹, 塚越啓史¹ (1名城大・農, ²中部大・応生)</p> <p>2pH11 VLCFA 応答性転写因子による根の成長制御メカニズム 植村優太¹, 木村早央里¹, 太田智通¹, 鈴木孝征², 森上敦¹, 塚越啓史¹ (1名城大・農, ²中部大・応用生物)</p> <p>2pH12 極長鎖脂肪酸 (VLCFA) 受容による概日リズム変動を介した側根発達メカニズムの解析 木村早央里¹, 前田明里², 植村優太¹, 太田智通¹, 間瀬皓介¹, 小嶺雄輝¹, 鈴木孝征³, 森上敦¹, 中道範人², 塚越啓史¹ (1名城大学, ²名古屋大学, ³中部大学)</p>	シンポジウム S O 6 寄生・共生・防御・感染を制御する化学シグナル (13:15-16:15)	シンポジウム S O 7 見たい, 知りたい, 操作したい, 植物と微生物の超個体 (13:15-16:15)	14:45 15:00 15:15 15:30 15:45 16:00

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月24日(木) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成の環境応答	生体膜・イオン・物質輸送	細胞壁	新技術開発
09:00	<p>3aA01 光応答性の可逆的リン酸化による NADP ブールサイズ制御 橋田慎之介¹, 石山千波², 福田裕介², 濱崎結大³, 川合真紀⁴(¹電中研・生物環境化学, ²(株)セレス, ³東京バイオ専門, ⁴埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aB01 ゼニゴケの TPC チャネル・液胞膜 SV チャネルの機能解析と植物の TPC チャネルの進化 朽津和幸^{1,2}, 橋本研志^{1,2}, Mateusz Koselski³, 坪山祥子¹, Kazimierz Trębacz³(¹東京理科大・理工・応用生物学, ²東京理科大・理工・農理工学際連携, ³Maria Curie-Skłodowska 大学)</p>	<p>3aC01 微小管依存的な液-液相分離を介した二次細胞壁パターン制御 比嘉毅¹, 近藤洋平², 出村拓³, 福田裕徳⁴, 小田祥久^{1,5}(¹遺伝研・遺伝形質, ²生命創成探求センター, ³奈良先端大・CDG, ⁴京都先端・バイオ環境, ⁵総研大・遺伝学)</p>	<p>3aD01 光の乱れを補正する天文技術補償光学を用いた植物深部生細胞イメージング 初見洲人¹, 服部雅之², 黒倉健¹, 児玉豊¹, 早野裕², 山本裕紹¹, 玉田洋介¹(¹宇都宮大・地域創生, ²国立天文台・先端技術センター)</p>
09:15	<p>3aA02 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 におけるアンチシグマ様因子 PmgA とアンチゴニスト様因子 Ssr1600 の生理解析 立花将伍, 高橋裕二, 日原由香子(埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aB02 ㊦ Mapping and characterization of QTLs for sorghum seed ionome reveals differential cadmium accumulation in a recombinant inbred population Fiona W. Wacera¹, Kiyoshi Yamazaki², Hideki Takanashi², Toru Fujiwara², Nobuhiro Tsutsumi², Wataru Sakamoto¹(¹Okayama University, Institute of Plant Science and Resources, ²The University of Tokyo, Graduate School of Agricultural and Life Sciences)</p>	<p>3aC02 木部道管細胞の二次細胞壁形成における細胞膜健全性の重要性 家門絵理¹, 野田千尋², 出村拓^{2,3}, 大谷美沙都^{1,2}(¹東大・新領域, ²奈良先端大・バイオ, ³奈良先端大・CDG)</p>	<p>3aD02 蛍光寿命を指標としたマルチイメージング解析 青山剛士¹, 杉本浩¹, 佐藤良勝^{1,2}(¹名古屋大学・ITbM, ²名古屋大学・理学研究科)</p>
09:30	<p>3aA03 <i>Synechocystis</i> sp. PCC6803 における分子状水素の機能と役割 浅野佑太, 太田尚孝, 駒達也(東理大・院・理工)</p>	<p>3aB03 ALMT リンゴ酸輸送体による気孔閉口メカニズムの解析 佐々木孝行, 有吉美智代, 山本洋子, 森泉(岡山大・植物研)</p>	<p>3aC03 木部輸送に関与する細胞壁関連遺伝子の乾燥応答における役割 遠藤暁詩¹, 福田裕徳²(¹京都先端大・総合, ²京都先端大・バイオ環境)</p>	<p>3aD03 シロイヌナズナにおける超速高効率塩基編集 片山健太, 寺本潤, 田岡健一郎, 西田敬二, 近藤昭彦(神戸大・先端バイオ)</p>
09:45	<p>3aA04 光量で変化する C4 植物の葉の「表裏軸」の検証 植田早紀¹, 中村悠希², 藤善真生², 古本強^{1,2}(¹龍谷大・院・環境生理学, ²龍谷大・農学)</p>	<p>3aB04 ジャスモン酸メチル誘導性気孔閉口への PYL5 および PYL8 ABA 受容体の関与 銀叶^{1,2}, 佐々木孝行³, 中村宜智¹, 宗正晋太郎¹, 村田芳行¹, 森泉²(¹岡山大・院・生命環境科学, ²青島科技大, ³岡山大・植物研)</p>	<p>3aC04 ホウ素依存的翻訳制御を受けるメチル基転移酵素遺伝子の翻訳制御機構とホウ素欠乏環境における機能 渡邊夕夏, 茶木康智, 三輪章子(北大・院・環境)</p>	<p>3aD04 ㊦ Targeted base editing in the mitochondrial genome of <i>Arabidopsis thaliana</i> Chang Zhou¹, Issei Nakazato¹, Yoshiko Tamura¹, Nobuhiro Tsutsumi¹, Mizuki Takenaka², Shin-ichi Arimura¹(¹Graduate School of Agricultural and Life Sciences, University of Tokyo, ²Graduate School of Science, Kyoto University)</p>
10:00	<p>3aA05 シロイヌナズナの強光順化における葉序ごとの光化学系 II 修復能力 北村泉希¹, 新庄梓², 西山佳孝²(¹埼玉大・院・理工, ²埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aB05 ㊦ A novel protein, DISM01, regulates the Mo distribution in the rice plant Prashant Kandwal, Toru Fujiwara, Takehiro Kamiya (The University of Tokyo)</p>	<p>3aC05 グルコシルセラミドは低ホウ素条件下における植物の生育に重要である 長野稔¹, 小宮山梨菜¹, 安井碧¹, 松浦智哉¹, 石川寿樹², 竹中悠人¹, 石水毅¹, 川合真紀², 深尾陽一郎¹(¹立命館大・生命科学, ²埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aD05 染色体外線形 DNA の機能に関する構成論的アプローチに向けた in vivo DNA 合成系の構築 青木孝, 光田篤矢(大阪府立大・生命環境)</p>
10:15	<p>3aA06 高温順化したシアノバクテリアの光阻害における光化学系 II 表在性タンパク質の役割 猪崎風葵, 西山佳孝(埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aB06 組織特異的に SOS1 が発現する植物における放射性同位体の経時的イメージングを用いた根のナトリウム排出能の評価 名兒耶美緒¹, 小倉尚晃¹, 杉田亮平², 小林奈通子¹, 中西友子^{1,3}, 田野井慶太郎¹(¹東京大・院・農学生命科学, ²名古屋大・アイソトープ総合セ, ³星薬科大)</p>	<p>3aC06 ㊦ The ZHOUP/ICE1 transcription factors control programmed cell death and formation of a novel water conducting tissue in the liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> Yen-Ting Lu^{1,2}, Jeanne Loue-Manifel^{2,3}, Norbert Bollier⁴, Ryuichi Nishihama⁵, Takayuki Kohchi⁵, Moritz Nowack⁶, Gwyneth Ingram³, Justin Goodrich²(¹Grad. Sch. BioSci., NAIST, ²IMPS, University of Edinburgh, ³CNRS, ENS de Lyon, ⁴INRAE, Université de Bordeaux, ⁵Grad. Sch. Biostudies, Kyoto University, ⁶VIB-UGent Center)</p>	<p>3aD06 融合ペプチドを用いたタバコ、イネ、ケナフの色素体形質転換系の開発 小田原真樹¹, 堀井陽子¹, 伊丹順¹, 根岸由紀¹, 沼田圭司^{1,2}(¹理研・バイオ高分子, ²京大院・工学)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間
エビジェネティック制御		環境応答 A	栄養成長			
<p>3aE01 ㊦ Characterization of <i>Flowering locus C</i> season-meter in a <i>Wasabi japonica natural</i> population Yoshikazu Endo¹, Kyoko Yamane², Haruki Nishio³, Francesca Clarissa⁴, Kentaro Yano⁵, Hiroshi Kudoh⁶, Deiana Buzasu⁴ (1Mountain Science Center of University of Tsukuba, Iikawa Forest Station, 2Gifu University, Faculty of Applied Biological Sciences, 3The Center for Data Science Education and Research Shiga University, 4Tsukuba-Plant Innovation Center and Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, 5School of Agriculture, Meiji University, 6Center for Ecological Research, Kyoto University)</p>		<p>3aG01 麻酔処理による傷害応答遺伝子、植物ホルモン及び接ぎ木接着に対する影響 平山朔也¹, 阿部友亮², 佐藤良介², 柴田恭美³, 湯本絵美³, 宮本皓司^{1,2}, 陽川憲⁴, 佐藤忍³, 朝比奈雅志^{1,2,3} (1帝京大・院・総合理工, 2帝京大・理工・バイオ, 3帝京大・先端機器分析セ, 4北見工業大・工, 5筑波大・生命環境)</p>	<p>3aH01 気孔を増やす低分子化合物 Chatty の標的探索 中川彩美¹, 桑田啓子¹, 山田柊哉¹, ベリーグレゴリー¹, 廣田毅¹, 佐藤綾人¹, 打田直行², 下遠野明志¹, 伊丹健一郎¹, 村上慧³, 鳥居啓子^{1,4,5} (1名古屋大・ITbM, 2名古屋大・遺伝子実験施設, 3関西学院大・理, 4テキサス大オースティン校・分子生物, 5ハーワード・ヒューズ医学研究所)</p>		データベース講習会 (9:00-12:00)	09:00
<p>3aE02 胚乳細胞における複合のエビジェネティック抑制機構と母親由来ゲノムによる種子発芽の制御 佐藤輝^{1,3}, Juan Santos-González², Claudia Köhler^{1,2} (1スウェーデン農業科学大学, 2マックスプランク分子植物生理学研究所, 3現所属: 東京大学・新領域創成科学研究科)</p>		<p>3aG02 Trx および Trx 様タンパク質による葉緑体タンパク質の酸化制御 福土結香^{1,2}, 横地佑一^{1,2}, 若林憲一^{1,2}, 吉田啓亮^{1,2}, 久堀徹^{1,2} (1東工大・生命理工学院, 2東工大・化生研)</p>	<p>3aH02 葉の無限成長を可能にする細胞分裂活性維持機構の解析 森山安武, 古賀皓之, 塚谷裕一 (東京大・院理)</p>			09:15
<p>3aE03 ㊦ A New Concept of Grafting on Drought-Stress Tolerance in Tomato Plants Maria Isabel Fuentes Merlos¹, Masaru Bamba¹, Makoto Endo², Shusei Sato¹, Atsushi Higashitani¹ (1Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., 2Takii Co LTD)</p>		<p>3aG03 Trx 様タンパク質による葉緑体 ATP 合成酵素の不活性化制御 関口敬俊^{1,2}, 吉田啓亮^{1,2}, 若林憲一^{1,2}, 久堀徹^{1,2} (1東工大・科学技術創成研究院・化学生命科学研究所, 2東工大・生命理工学院)</p>	<p>3aH03 ゼニゴケ胞子体の萌柄形成を制御する bHLH 型転写因子モジュールの解析 守屋健太¹, Jeanne Loue-Manifel^{2,3}, 西浜竜一^{4,5}, 岡義人¹, 松下智直¹, Gwyneth Ingram², Justin Goodrich³, 河内孝之⁴, 嶋田知生¹ (1京大・院理, 2リヨン高等師範学校, 3エディンバラ大学, 4京大・院生命科学, 5東京理科大学・理工・応生)</p>			09:30
<p>3aE04 オーキシシンによるゲノム恒常性維持機構 安喜史織, 梅田正明 (奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)</p>		<p>3aG04 ㊦ Carbonyl scavenger dipeptides mitigate salt stress in plants Most Sharmin Sultana¹, Jun'ichi Mano² (1Tottori University, 2Yamaguchi University)</p>	<p>3aH04 気孔形成をかく乱する小分子化合物 Bubbilin の標的因子の解析 村上知暉¹, 安西慎太郎¹, 阪井裕美子¹, 田村謙太郎², 松田佳祐³, 今井敏彰³, 大越研人³, 佐藤安弘⁴, 永野惺^{5,6}, 岡義人¹, 松下智直¹, 嶋田知生¹ (1京都大・院理生, 2静岡国立大・食品栄養科学, 3公立千歳科学技術大・理工, 4チューリッヒ大・IEU, 5龍谷大・農, 6慶應大・IAB)</p>			09:45
<p>3aE05 シロイヌナズナ受精卵の発生過程における CENH3 マークの新規形成を制御するクロマチンクロストークの解析 永原史織¹, 東山哲也^{1,2,3}, Frederic Berger⁴, 武内秀憲^{1,5} (1名大・ITbM, 2名大・院・理, 3東大・院・理, 4クレゴール・メンデル研究所, 5名大・高等研究院)</p>		<p>3aG05 エタノールによる高塩ストレス下における植物抗酸化酵素の遺伝子発現制御機構の解析 佐古香織^{1,2}, 松井章浩², 田中真帆², 真野竜太郎¹, 藤原すみれ³, 光田展隆³, 田茂井政宏¹, 関原明² (1近大・農, 2理研・CSRS, 3産総研・生物プロセス)</p>	<p>3aH05 シロイヌナズナの角膜幹細胞を維持する新規制御機構 紀平望帆¹, 杉山輝樹^{1,2}, 梅田千景¹, 梅田正明¹ (1奈良先端大・先端科学, 2理研・CSRS)</p>			10:00
<p>3aE06 ㊦ Proteolysis of histone methyltransferases controls cell cycle progression in <i>Arabidopsis</i> Kar Yee Moo¹, Akiko Masada¹, Haruka Manabe¹, Hiromoto Takatsuka², Shiori S. Aki¹, Masaaki Umeda¹ (1Graduate School of Science and Technology, Nara Institute of Science and Technology, 2School of Biological Science and Technology, College of Science and Engineering, Kanazawa University)</p>		<p>3aG06 紅色光合成細菌におけるファージ様粒子 GTA を介した遺伝子水平伝播の酸化ストレス応答性制御機構 有年統真, 清水隆之, 増田建 (東大・院・総合文化)</p>	<p>3aH06 植物の表皮細胞運命の決定と <i>ATML1</i> 遺伝子の活性抑制 高田忍¹, Gerd Jürgens², 飯田浩行³ (1大阪大学・理学部・生物, 2ZMBP, University of Tübingen, 3Institute of Biotechnology, HiLIFE, University of Helsinki)</p>			10:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月24日(木) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成の環境応答	生体膜・イオン・物質輸送	細胞壁	新技術開発
10:30	<p>3aA07 低温ストレス障害と光化学系Iストレス応答との関わり 竹内航¹, 車玉芬¹, 熊沢穰¹, 中野雄司¹, 三宅親弘², 伊福健太郎³(¹京都大・院生命, ²神戸大・院農, ³京都大・院農)</p>	<p>3aB07 イネケイ酸輸送体 Lsi1 の偏在は複数領域によって制御される 小西範幸, 馬建鋒(岡山大・植物研)</p>	<p>3aC07 微小管結合タンパク質 RIC1 過剰発現による子葉器官および表皮細胞の形態変化 菊川琴美¹, 曾我康一², 今村寿子³, 小竹敬久⁴, 楢垣匠¹(¹熊本大・院・自然科学, ²大阪市立大・院・理, ³九州大・院・医, ⁴埼玉大・院・理工)</p>	
10:45	<p>3aA08 シアノバクテリアのアミノ酸添加による細胞内レドックスの変化 伊藤佑真, 園池公毅(早稲田大学)</p>	<p>3aB08 ㊦ Regulation mechanism of boron uptake in rice Sheng Huang, Noriyuki Konishi, Naoki Yamaji, Namiki Mitani-Ueno, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>	<p>3aC08 接木における β-1,4-グルカナーゼの過剰発現あるいは外的投与の効果 川勝弥一¹, 野田口理孝^{1,2,3}(¹名古屋大 生物機能開発利用研究センター, ²名古屋大学大学院 生命農学研究科, ³名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)</p>	
11:00	<p>3aA09 ㊦ Functional interaction between Cystathionine-β-synthase X proteins and NADPH-thioredoxin reductase C in <i>Arabidopsis thaliana</i> Minh Chau Tran^{1,2}, Shouko Mihara^{1,2}, Ken-ichi Wakabayashi^{1,2}, Keisuke Yoshida^{1,2}, Toru Hisabori^{1,2}(¹Laboratory for Chemistry and Life Science, Institute of Innovative Research, Tokyo Institute of Technology, ²School of Life Science and Technology, Tokyo Institute of Technology)</p>	<p>3aB09 新奇液胞膜型マグネシウム輸送体の気孔開口への関与 井上晋一郎¹, 林真妃¹, 黄勝², 横正健剛², 後藤栄治³, 池松朱夏⁴, 奥村将樹¹, 鈴木孝征⁵, 木下俊則^{1,4}, 馬建鋒²(¹名古屋大・院理, ²岡山大・植物研, ³九大・院農, ⁴名古屋大・ITbM, ⁵中部大・応用生物)</p>	<p>3aC09 接木誘導性 Germin-Like Protein ファミリー遺伝子に関する研究 森萌恵¹, 黒谷賢一², 野田口理孝^{1,2,3}(¹名古屋大・院生命農学, ²名古屋大・生物機能開発利用研究センター, ³名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所)</p>	
11:15	<p>3aA10 緑藻クラミドモナスのシトクロム <i>b_f</i> の PETC-171-Pro を Leu に置換した変異株はルーメン酸性下条件で電子伝達速度を強く抑制する 小澤真一郎¹, ブッハート フェリックス², ルイス ルビー², ヒップラー ミヒヤエル^{1,2}, 高橋裕一郎³(¹岡山大・植物研, ²ミュンスター大学, ³岡山大・基礎研)</p>	<p>3aB10 シアノバクテリアのリン酸取り込みに与える硫酸・マグネシウムの影響 李鑑雄¹, 岩田康嗣², 鈴木裕司³, 鈴木石根⁴(¹筑波大・生命環境科学研究科, ²産総研・電子光基礎技術研究部門, ³大洋サービス, ⁴筑波大・生命環境系)</p>	<p>3aC10 ㊦ Xylem formation enhances scion growth of <i>Nicotiana</i> interfamily grafting Chaokun Huang¹, Ken-ichi Kurotani², Ryo Tabata⁴, Michitaka Notaguchi^{1,2,3}(¹Grad. Sch. Agr., Univ. Nagoya, ²Bioscience and Biotechnology Center, Univ. Nagoya, ³Institute of Transformative Bio-Molecules, Univ. Nagoya)</p>	
11:30		<p>3aB11 シロイヌナズナの高ホウ素耐性にカスバリ一帯が果たす役割の解析 室啓太, 神代滋央, 高野順平(大阪府大・院生命環境科学)</p>	<p>3aC11 ㊦ Chemical screening to identify graft promoting molecules in Fabaceae Qianqian Luo¹, Xueyao Shu¹, Yaichi Kawakatsu², Ryoko Morinobe¹, Lalita Jantean¹, Hejin Son¹, Ayato Sato³, Ken-ichi Kurotani², Michitaka Notaguchi^{1,2,3}(¹Grad. Sch. Bioagri-Sci., Univ. Nagoya, ²Bioscience and Biotechnology Center, Univ. Nagoya, ³Institute of Transformative Bio-Molecules(ITbM), Univ. Nagoya)</p>	
11:45		<p>3aB12 イネの根における効率的なケイ酸ローディングに寄与する輸送体 Lsi3 黄勝¹, 山地直樹¹, 櫻井玄², 三谷奈見季¹, 小西範幸¹, 馬建鋒¹(¹岡山大・植物研, ²農研機構)</p>		

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	Y 会場	Z 会場	時間	
エピジェネティック制御		環境応答 A	栄養成長				
<p>3aE07 シロイヌナズナの耐病性には DME による DNA 脱メチル化が必要である 三木大介 (中国科学院分子植物科学卓越创新中心)</p> <p>3aE08 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> の染色体高次構造形成におけるコヒーシンの役割の検証 坂本卓也¹, 中山南¹, Daniel Slane², 乾弥生², 松永朋子², 吉田大和³, 鈴木孝征⁴, 田中寛⁵, 松永幸大² (1東理大・理工・応用生物, 2東大・院・新領域, 3東大・院・理, 4中部大・応用生物・応用生物化学, 5東工大・化生研)</p>		<p>3aG07 シロイヌナズナにおける呼吸不全時のミトコンドリアゲノムコピー数と遺伝子発現量の変動 綾部弘基¹, 豊田敦², 岩元明敏³, 堤伸浩¹, 有村慎一¹ (1東大大学院農学生命科学研究科, 2国立遺伝学研究所ゲノム・進化研究系, 3神奈川大学理学部)</p> <p>3aG08 植物の姿勢制御に与える変異型 ACTIN8 の部位特異的発現の影響 三宅唯月¹, 八木宏樹², 豊倉浩一³, 西村いくこ², 上田晴子^{1,2} (1甲南大・院・自然科学, 2甲南大・理工, 3名古屋大・生物機能セ)</p> <p>3aG09 ゼニゴケの重力応答とアミロプラストの沈降 橋本(杉本)美海¹, 法月拓也^{2,3}, 瀬上紹嗣^{4,5}, 太田裕作⁶, 上田貴志^{3,5}, 森田美代^{1,5,7} (1名大院・生命農, 2群大・生調研, 3基生研・細胞動態研究部門, 4基生研・生物進化研究部門, 5総研大, 6基生研・生命創成探究センター, 7基生研・植物環境応答研究部門)</p> <p>3aG10 ブラシノステロイドシグナル伝達因子 BIL8 の根端コルメラ細胞における重力応答制御機構の解析 鈴木慎¹, 山上あゆみ¹, 中田元基², 松井南³, 久城哲夫², 浅見忠男⁴, 中野雄司¹ (1京大院・生命, 2明治大・農, 3理研・CSRS, 4東大院・農生科)</p>	<p>3aH07 ㊦ A hypothesis on the evolution of meristem zonation by CLE gene duplication Yuki Hirakawa (Grad. Sch. Sci., Gakushuin Uni.)</p> <p>3aH08 ゼニゴケ幹細胞領域における MpCLE2 シグナル下流因子の探索と解析 高橋剛, 清未知宏, 平川有宇樹 (学習院大・院・自然)</p> <p>3aH09 シロイヌナズナにおけるプラスチド型および細胞質型リボソームストレス応答経路の比較解析 長嶋友美¹, 藤井佑都¹, 伊藤早紀¹, 大城克友¹, 大林祝³, 杉山宗隆⁴, 塚谷裕一⁴, 堀口吾朗^{1,2} (1立教大・理・生命理, 2立教大・理・生命理センター, 3Dept. Life Sci., National Cheng Kung Univ., 4東大・院・理)</p> <p>3aH10 気孔直下の葉肉細胞間に空隙(気孔腔)を形成する細胞間シグナル伝達 吉田祐樹, 澤進一郎 (熊本大・院先端科学)</p> <p>3aH11 シロイヌナズナ胚におけるオーキシンと CUC 遺伝子群との相互作用の解析 檜崎悠生¹, 山田瑞希², 井本彩愛², 田中俊介¹, 宮崎竜也¹, 相田光宏² (1熊大・理, 2熊大・IROAST, 3奈良先端大・バイオ)</p> <p>3aH12 シロイヌナズナの胚発生において CUP-SHAPED COTYLEDON 遺伝子群がサイトカイニンシグナルに与える影響 上部沢樹¹, 坂本匠¹, 相田光宏² (1熊大・理, 2熊大・IROAST)</p>			<p>データベース講習会 (9:00-12:00)</p>	<p>10:30</p> <p>10:45</p> <p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p> <p>11:45</p>

㊦ = 発表の言語は英語